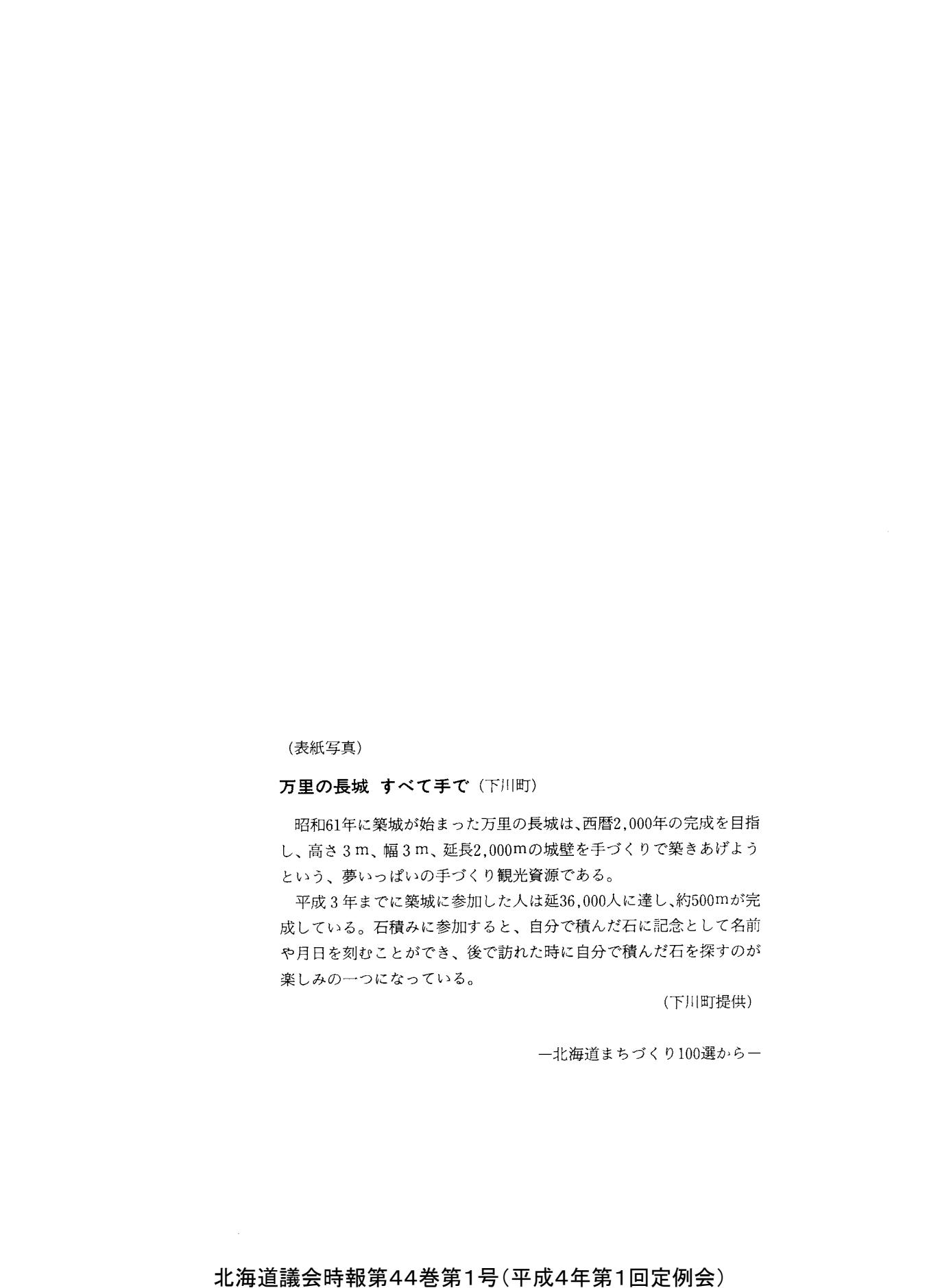


# 北海道議会時報

平成4年第1回定例会



北海道議会事務局



(表紙写真)

### 万里の長城 すべて手で（下川町）

昭和61年に築城が始まった万里の長城は、西暦2,000年の完成を目指し、高さ3m、幅3m、延長2,000mの城壁を手づくりで築きあげようという、夢いっぱいの手づくり観光資源である。

平成3年までに築城に参加した人は延36,000人に達し、約500mが完成している。石積みに参加すると、自分で積んだ石に記念として名前や月日を刻むことができ、後で訪れた時に自分で積んだ石を探すのが楽しみの一つになっている。

（下川町提供）

—北海道まちづくり100選から—

..... もくじ .....

## 第1回定例会

概要	1
本会議	2
提出案件	14
決議案	18
意見案	19
請願・陳情	24

## 委員会の動き

議会運営委員会	27
常任委員会	32
特別委員会	40
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
予算特別委員会	

## 会合

全国都道府県議会議長会	54
10都道府県議会議長会	54

## 1・2・3月のメモ

- 注 1. 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会（調査終了後一括掲載）  
2. 決算特別委員会（審査終了後一括掲載）

# 議会日誌

## ▶ 1月

- 9日（木） 各常任委員会  
10日（金） 総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会  
23日（木） 道営競馬札幌場外発売所問題調査  
24日（金） 特別委員会  
27日（月） 道営競馬札幌場外発売所問題調査  
28日（火） 特別委員会

## ▶ 2月

- 4日（火） 各常任、決算特別各委員会  
5日（水） 総合開発調査特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、過疎地域振興対策特別各委員会  
7日（金） 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会  
18日（火） 議会運営、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別各委員会  
19日（水）  
20日（木） 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会  
21日（金）  
24日（月） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会  
25日（火） **（第1回定期会開会）**  
議会運営委員会  
**本会議**（会期決定<30日間>、道政執行方針並びに提案説明、教育行政執行方針）

## ▶ 3月

- 2日（月） 議会運営委員会  
**本会議**（代表質問<1人>）  
3日（火） 議会運営委員会

## 本会議（代表質問）

- 4日（水） 議会運営委員会  
**本会議**（日程延期）  
5日（木） 議会運営、農政、水産林務、北方領土対策特別各委員会  
**本会議**（日程延期）  
6日（金） 議会運営委員会  
**本会議**（決議案1件可決、意見案3件可決）  
9日（月）  
10日（火） 議会運営委員会  
**本会議**（日程延期）  
11日（水） 議会運営委員会  
**本会議**（代表質問）  
12日（木） 議会運営委員会  
**本会議**（代表質問<3人>、追加提案説明）  
13日（金） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問<7人>）  
16日（月） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問<4人>）  
17日（火） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問<6人>）  
18日（水） 議会運営委員会  
**本会議**（一般質問<2人>、予算特別委員会設置）  
予算特別委員会（正副委員長の互選、予算第1・第2・第3分科会設置、先議案件審査）  
予算第1・第2・第3分科会（正副委員長の互選）  
総務、建設、水産林務各委員会  
**本会議**（予算特別委員長報告、補正予算等先議案件可決）  
19日（木） 予算第1・第2・第3各分科会（各部所管審査）  
23日（月） 予算第1・第2・第3各分科会（各部所管審査）  
24日（火） 予算第1・第2各分科会（各部所管審査）  
25日（水） 予算特別委員会（総括質疑）、議会

運営、各 常任、 北方領土 対策特別、交通安全対策特別、道営競馬  
札幌場外発売所問題調査特別、決算特別各委員会

**本会議**（各委員長報告、決議案 1 件否決、石狩西部広域水道企業団 議会議員の選挙、意見案 1 件否決及び 4 件可決）  
(第 1 回定例会閉会)

# 第1回定例会

## 2兆6,877億円余の平成4年度予算成立

▶ 清潔な政治の確立を求める意見案可決 ◀

### 概要

- ① 平成4年度予算等を審議する第1回定例会は、2月25日招集され、会期を3月25日までの30日間と決定の後、総額2兆6,877億円余の平成4年度予算及びこれに関連する議案等が上程され、知事から道政執行方針及び提出案件に関する説明、教育長から、教育行政執行方針に関する説明を行い、議案調査のため、2月26日から29日まで休会することに決定した。
- ② 3月2日から代表質問に入り、3月4日の桜井外治議員（自民）の主任制問題等に係る再質問で審議が中断、3月6日には、阿部文男衆議院議員の辞職勧告及び道議会の権威保持に関する決議案を原案可決の後、北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見案ほか2件の意見案を原案可決し、議案調査のため、3月7日は休会することに決定した。
- 休会明けの3月11日、教育長から桜井議員の再質問に対する答弁を行い審議が再開され、3月12日に代表質問を終結の後、平成3年度最終補正予算が上程され、知事から提案説明。
- ③ 3月13日から一般質問に入り、3月18日に終結し、予算特別委員会を設置のうえ議案を関係委員会に付託の後、先議案件等審査のため、一たん休憩、再開後、平成3年度補正予算及びこれに関連する議案等を先議し、各関係委員長の報告を行い、討論、採決の結果、いずれも原案可決、各委員会付託議案審査のため3月19日から3月24日まで休会することに決定。
- ④ 予算特別委員会は、3月18日、正副委員長の互選を行い、3分科会を設置の後、平成3年度補正予算等について先議を行い、質疑、討論、採決の結果、いずれも原案可決と決定。
- 19日から、各分科会において平成4年度予算等に対する各部所管審査に入り、24日にこれを終え、3月25日、各分科委員長報告の後、討論、採決の結果いずれも原案可決と決定。
- ⑤ 会期最終日の3月25日は、各付託議案に対する委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決。
- 次に、道営住宅家賃値上げの撤回を求める決議案を否決。
- 次に、石狩西部広域水道企業団議会議員の選挙を行った後、企業との癒着など政治腐敗の根絶を求める意見案を否決し、清潔な政治の確立を求める意見案ほか3件の意見案を原案可決。
- 次に、前会より継続審査中の平成2年度各会計歳入歳出決算の閉会中継続審査、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、定例会開会以来、30日目の3月25日の夕刻、閉会した。
- ⑥ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処理の状況					計
		原案可決	報告のみ	継続審査	否決		
知事	100	98	2	(1)	—	100 (1)	
議員	10	8	—	—	2	10	
計	110	106	2	(1)	2	110 (1)	

注 ( ) 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

# 本会議

○2月25日(火) 午前10時1分開議、若狭 靖議長、平成4年第1回定例会の開会を宣し、直ちに会議を開き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

議長から、元議員奥野一雄氏の逝去(2月17日)について弔意を表した旨報告。次に、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から3月25日までの30日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第87号を議題とし、知事から、道政執行方針及び提出議案について説明、教育長から、教育行政執行方針について説明があって、議案調査のため、2月26日から2月29日まで休会することに決定し、午前11時5分散会。

○3月2日(月) 午後2時1分開議、諸般の報告の後、

議長から、元議員佐野法幸氏の逝去(2月27日)について弔意を表した旨報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号を議題とし、代表質問に入り、



桜井 外治議員(自民)

から、

① 道政執行方針に関し、北海道の経済的自立や住民本位の自立的な地方自治確立への対処、高齢化社会の到来に向けて北海道独自の施策や社会づくりの考え方、過疎化問題についての人口の定住化や人材の育成対策、エネルギー対策についての所見

② 新千歳空港の24時間運用に関し、千歳、苦小牧両地区の住民対策の経過と問題点、特に苦小牧地区の話し合いにおける問題点と今後の地域協議会の開催見通し、24時間運用問題の解決に対する決意

③ 北海道新幹線の建設促進に関し、政府などへの陳情の状況、平成5年の「政府・与党申

し合せ」の見直しについての見解と地元合意の形成や建設費の地域負担についての考え方、建設規格、札幌からの着工及び物流型新幹線構想についての所見

- ④ 千歳川放水路計画の促進に関し、美々川源流部調査の性格、調査検討の経過、放水路計画との関連、関係地域住民との対話、調査結果まとめの時期
- ⑤ 景気対策に関し、経済の現状と今後の見通し、平成4年度景気対策関連予算の状況、公共事業の上期発注率及び経済成長が伸び悩んでいる地域への事業配分の方針、持家建設促進特別対策資金の貸付条件緩和や道の施設整備年次計画の繰上げなどの積極的な取り組み、公共建築工事の営繕単価改定に向けての所見、中小企業振興資金の需要見込み
- ⑥ 米などの閑税化阻止に関し、農産物市場解放問題をめぐっての対応、ガット農業交渉の見通しと今後の取り組み
- ⑦ 福祉問題に関し、老人や患者の在宅介護の現状と今後の取り組み、福祉サービスの利用状況が低調であることの認識、福祉サービスの情報提供の現状と介護者ニーズの把握
- ⑧ 漁業基地地域振興対策に関し、水産関連産業への対応、振興策の経過と今後の方針、ロシア連邦と韓国などとの漁業協定についての受止めとその対策
- ⑨ 学校週5日制の試行に関し、授業時数の変更と教育水準の維持に向けての認識、特殊学校における試行のあり方を含めた対応についての見解、共働き家庭における保護者不在の場合の受け入れ態勢と地域社会問題としての認識
- ⑩ 国旗、国歌の取扱いに関し、現状の認識、実施率の低い理由と改善の対策、実施率の低い管内への指導と改善見通し
- ⑪ 主任制度をめぐる当面の課題に関する、教育関係者の理解を得るために取り組みと関係者の見解、文部省に対しての理解を得るために取り組みと文部省の見解
- ⑫ 脱スパイクと交通事故問題に関し、札幌市及び近郊市町村におけるこの冬のスリップ事故発生状況、全道規模での法の指定に向けての所見、警察としての交通指導取締りなどの

## 事前対策等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後3時54分休憩、午後4時38分再開。本日の会議は議事の都合によりこの程度にとどめ、延会することに決定し、午後4時39分延会。

○3月3日（火） 午後3時47分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第87号**を議題とし、代表質問を継続、3月2日の桜井外治議員（自民）の再質問に対し知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁、教育長から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後4時18分休憩、午後4時20分再開し、本日の会議は、議事の都合により延会することに決定し、午後4時21分延会。

○3月4日（水） 午後4時26分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定し、午後4時28分延会。

○3月5日（木） 午後4時31分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定し、午後4時32分延会。

○3月6日（金） 午後3時51分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第87号**を議題とし、

## 日程第1の議事中止

**追加日程 決議案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

**追加日程 意見案第1号ないし第3号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決し、本日の会議はこの程度にとどめ、延会することとし、3月7日は議案調査のため、休会することを決定して、午後3時55分延会。

○3月9日（月） 午後4時39分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程

を延期し、延会することに決定し、午後4時40分延会。

○3月10日（火） 午後4時35分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事の都合により日程を延期し、延会することに決定し、午後4時36分延会。

○3月11日（水） 午後4時49分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第87号**を議題とし、代表質問を継続、3月3日の桜井外治議員（自民）の再々質問に対する教育長の答弁。同議員から発言。本日の会議はこの程度にとどめ延会することに決定し、午後4時57分延会。

○3月12日（木） 午前10時13分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第87号**を議題とし、代表質問を継続、

  
大平 盛雄議員（社会）  
から

- ① 知事公約に関し、実現に向けての今後の取り組み、地域活性化に向けての取り組み、北海道が世界に貢献していくための自治体としての国際交流についての所見
- ② 千歳川放水路問題に関し、知事の姿勢、ウトナイ湖と美々川について自然環境保全地域として指定することについての認識、事業の進め方についての所見
- ③ 国際エアカーゴ基地構想に関し、基地形成の推進に対する所見、貨物需要開拓と国際定期便の誘致に係るこれまでの取り組みと今後の見通し、24時間運用についての地域住民へのこれまでの対応と今後の見通し
- ④ 北方領土問題に関し、諸施策の取組みに対する所見、ビザなし交流の推進に向けての考え方、問題前進を図るために組織体制の整備についての所見
- ⑤ 財政問題に関し、平成4年度の予算編成における基本姿勢、国保定定化支援事業としての交付税措置が市町村の赤字解消に及ぼす効

- 果、使用料・手数料の見直しにおける道民の負担軽減についての検討経過と受益者負担の原則についての所見、基金の取崩と今後の償還に対する影響
- ⑥ 看護職員の確保に関し、北海道総合医療協議会の看護職員確保に係る緊急提言に対する受止めと今後の取り組み、道の看護職員需給見通しの算定基準、看護職員不足の解消に向けての姿勢、地域間格差の解消についての認識と具体的対策、看護職員の就業定着に向けての施策
- ⑦ 老人保健福祉計画に関し、市町村からの要望についての対応、計画策定に当たっての市町村への指導体制についての所見と道計画策定の時期、市町村計画の策定に当たっての基準
- ⑧ 農業問題に関し、ガット・ウルグアイラウンド農業交渉における例外なき関税化を柱とする合意文書案についての所見、平成4年度乳価決定に向けての取り組み、国際化に対応できる効率的な生乳生産体制の整備についての所見
- ⑨ 石炭及び産炭地域問題に関し、第8次石炭政策の地域に与える影響、新年度から実施される新しい石炭政策が石炭産業に与える影響、国内炭生産均衡点の審議に当たっての対応、露頭炭に係る政策が中小露頭炭鉱に与える影響、産炭地域進出企業の経営安定化対策、産炭地域活性化基金の具体的な支援事業と発足予定期
- ⑩ 森林・みどりの環境の充実に関し、積極的な施策の展開に向けての所見、森林の健全な育成についての取り組み
- ⑪ 北海道新幹線に関し、将来の高速交通体系整備を図る観点からの位置づけ、効果的かつ現実的な青写真づくりの所見、建設促進運動の体制強化
- ⑫ スパイクタイヤ規制問題に関し、今後の追加指定の時期及び範囲、平成4年度の脱スパイク対策についての所見
- ⑬ 教育問題に関し、主任制問題の早期解決に向けての決意、学校週5日制についての認識、調査研究校の実施形態と内容、週5日制の導入に向けての今後の対応

⑭ 暴力団対策に関し、道内の重点対象暴力団の傘下団体指定についての対応、潜在化する暴力団に対する対応策、暴力追放運動推進センターの活動に係る所見等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午前11時47分休憩、午後1時31分再開。



**工藤 啓二議員（公明）**

から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、ロシアとの今後の交流及び施策の具体的な推進体制、国際エアカーゴ基地構想に係る24時間運用に伴う騒音問題等についての所見と今後の取り組み、財政問題に係る今回の道予算の評価、公約の実現に向けた今後の事業展開の所見、各種調査費予算と今後の財政需要見通し
- ② 産業振興に関し、総合的な産業政策推進のこれまでの成果、景気後退が懸念される中での産業振興の中長期的な展望、企業誘致についての今後の見通しと展望、企業立地が進まない地域に対する対策、企業立地促進条例の助成対象事業の見直しについての所見
- ③ 農業問題に関し、ウルグアイ・ラウンド農業交渉において例外なき関税化が実施された場合の本道農業に与える影響と今後の対応、農業の担い手確保の問題についての取り組みと抜本的な農業担い手対策を講ずることについての所見
- ④ 水産問題に関し、サケ・マス漁業に対する今後の重点的取り組み、水産加工業を中心とする関連産業等の地域対策
- ⑤ 建設業の育成に関し、これまでの取り組みと展望、中小零細業者を含めた建設業の育成に向けての重点的な今後の取り組み、冬期施工の促進に向けての今後の取り組み
- ⑥ 医療福祉問題に関し、がん対策の推進の成果、がん検診の受診率向上に向けての今後の取り組み、全道的な検診体制整備に向けての今後の取り組み、総合リハビリテーションシステム整備についての今後の取り組み、障害福祉指針である障害者に関する北海道行動計画の最終年に当たってのこれまでの経過と新

## 計画策定に向けての所見

- ⑦ リゾート開発等に関し、実態調査の実施と指導等の取り組み、第3セクター方式等による運営実態などの把握とこれまでの指導
- ⑧ 国際交流に関し、中長期ビジョンについての所見、北方圏センターの今後のあり方を含めた国際化時代にふさわしい本格的な国際交流センターの設置についての所見、国際研修センターの誘致見通しと今後の取り組み
- ⑨ 教育問題に関し、学校週5日制の導入に向けての基本的な取り組みについての所見、庁内における検討経過、本年度から実施される実験校についての今後の取り組み、創造的私学振興推進事業の概要と今後の取り組み、高校授業料の値上げ問題についての所見とこれまでの還元措置の成果、今後の教育条件の整備充実に向けた中長期的視点からの計画的な還元措置についての所見と今後の取り組み
- ⑩ 暴力団対策に関し、暴力団対策法による重点的な取り締まりについての所見、暴力追放運動推進センターの設立に伴い今後展開される運動の概要等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、議事進行の都合により、午後2時58分休憩、午後3時33分再開。



水野 重男議員（民政）  
から、

- (1) 北海道経済の自立化に関し、北方圏域との国際交流の促進に当たっての国に対する対処方針と政策要求の姿勢、自治体外交としてのロシア極東地域を対象とする知的支援の背景、地方の活性化についての所見
- ② 過疎地域の振興対策に関し、水田転作緩和の消化実態の認識、農地の荒廃化に対して特別な対策を講ずることの認識と具体的な方策、住環境整備事業の新たな施策と具体的な対処方針、新山村振興農林漁業対策事業の本道における機能についての所見、辺地債及び過疎対策事業債の今後の需要への対応見通しと制度運用の拡大についての見通し、道の公共施設の地方への移転、設置、企業の立地誘致などの積極的な推進についての所見

③ 外国人労働者問題に関し、受け入れ実態の把握、国に対しての積極的な働きかけ、国際交流の進展と研修生の受け入れ地域に日本語教室を開設するなどの対応

④ 農政問題に関し、転作緩和の推進動向と本道における作業実態の把握、国のポスト後期対策に当たり方針の再転換があった場合の対処、緩和対策改善の方策、水田の復元化整備事業への対応見通しと総合的な生産体系確立のための推進方策、農業改良資金などの金融対策、米や園芸・野菜の検査規格の改善、輸入農畜産物の検査体制の強化と残留農薬基準問題への対処

⑤ 財團法人食の祭典委員会のあり方に関し、議会での論議の経緯と意義についての認識、委員会の存続についての所見

⑥ 教育問題に関し、学校の週休2日制実施に係る道独自の調査研究校の概要、5日制の導入に伴う指導体制についての所見、社会教育事業の推進に係る多様化する社会の進展への対処

⑦ 公安問題に関し、青少年非行の低年齢化の実態、学校の週5日制の導入に伴う非行防止対策等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

### 日程第1の議事を中止し

追加日程 議案第88号ないし第98号を議題とし、知事から提案説明。本日の会議はこの程度にとどめ延会することに決定し、午後4時43分延会。

○ 3月13日（金） 午前10時14分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第98号を議題とし、一般質問に入り、

明田 辰義議員（自民）から、

○ 過疎対策に関し、過疎法の所期の目的の達成状況についての見解、達成不十分な部分とその要因、道の支援策、今後の道の取り組み、平成4年度における道政の過疎対策の内容等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

伊藤 政信議員（社会）から、

① 福祉問題に関し、在宅福祉充実への条件整

- 備についての所見、本道における老人保健施設の整備計画、特別養護老人ホームの個室化についての所見、生活援助員つき公営住宅の建設促進についての今後の取り組み、障害者雇用の現状認識、障害者雇用に係る事業主への助言、指導を行う方策に対する所見
- ② 農業問題に関し、米の需給計画見直しに対する所見、本道稻作の将来方向及び国に対して減反緩和措置の継続や本道に対する傾斜配分是正を働きかけることについての所見
- ③ 森林・緑環境の充実に関し、平成4年度の道のみどりの環境づくり運動推進事業のポイント、道の植樹啓発に対する取り組み、森林づくりファミリースクール事業のねらいと進め方、「道民の森」の施設・環境整備の充実発展の要望
- ④ 交通安全対策に関し、本道の交通事故死者減少へ向けての所見等について  
質問があり、知事から答弁。

石井 孝一議員（自民）から、

- ① 研究開発機能の強化対策に関し、財團法人北海道地域技術振興センターにおける事業成果の評価及び同センターに対する道の支援、新長計戦略プロジェクトの一つ「北の技術開発ネットワーク」の推進体制の構想及び計画の進捗状況やスケジュール、「北の技術開発ネットワーク基本構想」と「北海道における科学技術振興の基本方針」の推進体制の統合、財團法人国立旭川医科大学設置協力会の残余財産活用の対応、「国際技術開発機構」の資金計画、国の「交流研究促進協会」設立に対する協力依頼への道の対応、科学技術振興に関する条例制定、研究開発の推進に係る財源措置
- ② 雇用対策に関し、新長期総合計画における雇用機会拡大の指標及び水準の平成3年度までの進捗状況、女性労働者の環境整備に関するこれまでの施策と成果、育児休業法の趣旨の普及及び制度定着の推進の取り組み
- ③ オリンピックメダリストに対する顕彰及びスポーツ振興基金制度に関し、道産子メダリストを顕彰することについての所見、スポーツ振興基金制度の設置等について  
質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再

質問、知事から答弁があって、午後零時4分休憩、午後1時37分再開。

小原 葉子議員（社会）から、

- ① 育児休業制度に関し、ゼロ歳児保育の充実についての所見、保育所の年度途中の入所についての取り組み、保育所の役割を道民にPRすることについて
- ② 環境問題に関し、地球規模の環境問題に対する姿勢、道内での熱帯木材の消費量、公共事業での熱帯木材使用抑制、熱帯木材使用削減のための連絡会議の設置に対する見解、市町村や道民に対するPR
- ③ ボランティア団体等に対する駐車禁止除外指定拡大等について  
質問があり、知事及び警察本部長から答弁。

加藤 和久議員（自民）から、

- 過疎問題に関し、第二次過疎化時代といわれる事態についての見解、これまでの対策と新しい政策課題への取り組み、過疎市町村に対する認識、過疎問題に対する見解、道における支援対策の是非、他府県の取り組みに対する見解、道がこれまで扱ってきた人口推計の手法、新長計での予想人口と平成2年度国勢調査との誤差に対する見解、コーホート算出手段とその結果及び内容に対する見解、大幅な人口減少の広域行政圈に対する対応、北海道独自の過疎対策に対する見解、外部関係等の協力体制づくりについての見解、過疎対策を進めていく上での協力体制、今後の地域振興と過疎対策の政策等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後2時54分休憩、午後3時20分再開。

平出 陽子議員（社会）から、

- ① 福祉問題に関し、福祉環境整備状況調査結果のまとめ方及び活用法、福祉環境整備要綱の見直しや改正についての見解
- ② 住宅問題に関し、シルバーハウジング研究事業の調査研究内容、高齢者向け公営住宅の整備に対する所見
- ③ 教育問題に関し、道内私立高校における障害者のための施設設備の実態、施設整備のための補助金制度等について  
質問があり、知事から答弁。

川村 正議員（自民）から、

- ① 水産問題に関し、漁業協同組合を取り巻く環境についての認識、将来の漁協組織、今後の組織基盤の強化、漁協合併推進の指導状況及び今後の取り組み、松前漁協の扱い、サケ・マス漁業関係の漁協の固定化債権の状況、今後の発生見通し、組合対策の検討、噴火湾の今漁期の貝毒発生状況やその特徴、水揚げの状況及び今後の見通し、ホタテガイ生産増大による供給過剰の懸念、需要や価格の動向、今後の需要拡大策、貝毒対策に対する取り組み及び今後の見通し、特定海域栽培漁業定着強化事業の導入地域とその効果、今後の日本海振興への取り組み
- ② 農業問題に関し、「ほのか224」の安定生産を図るうえでの対応、肉専用牛の確保のための対策、褐毛和種と黒毛和種の区分のための法改正に対する見解、野菜省力化栽培に向けての取り組み、農産物物流対策への認識及び今後の取り組み
- ③ 交通安全対策に関し、平成4年度の交通安全運動の進め方、交通安全を推進するうえでの重点事業等について  
質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時23分延会。

○3月16日（月） 午後1時8分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第98号を議題とし、一般質問を継続、**

**清水 誠一議員（自民）から、**

- ① 均衡ある地域活性化策に関し、本道の現状  
・未来についての考え方、地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律が成立した場合の活用についての所見、新長計の主な指標に対する達成率及び最終年までの予測、六生活経済圏について、各圏域の地域プロジェクトの推進状況
- ② 國際交流と北方領土問題に関し、國際交流の取り組みの現状及び今後の方向、ビザなし交流の実施を急ぐ理由及びこれまでの外務省・総務庁等との協議内容、道とサハリン州との事務協議を急いで実施した理由、ロシア側の受け入れ態勢についての判断、今回の受け入れ及び訪問の予算計上のための計画、5

月上旬に渡航する団体の性格と目的、今回渡航出来なかった旧島民に対する今後の対応、北方四島交流北海道推進委員会設立の経緯及び事業計画、北方基金の活用法及びそれに伴う事業実施の支障の有無、訪問に際し新たに生じる問題、サハリン州との対話集会のテーマ及びそれに対する認識

- ③ 障害児、障害者福祉に関し、重度の障害者のための施設整備についての考え方等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**伊藤 武一議員（公明）から、**

- ① 医療問題に関し、地域保健医療計画の見直しについての考え方及び今後の取り組み、医師の地域偏在解消のための取り組みの成果に対する評価、今後の医師確保の見通し、ナースバンク支所設置に対する取り組み、今後の増設計画及び事業拡大に対する所見、看護職志願者確保のための今後の取り組み、地方・地域センター病院の使命及び役割についての所見、今後の地方センター病院の指定についての考え方、地方・地域センター病院の医療機器に対する補助制度拡充に対する所見、道立の地域センター病院の機能充実への取り組み
- ② 国保問題に関し、本道の医療費が高い要因についての認識、医療費適正化の方策、国保財政健全化に向けての取り組み、レセプト点検による具体的成果や相談員の配置及び今後の取り組み
- ③ 環境問題に関し、道立自然公園の施設整備の現状及び施設整備計画の策定状況、釧路湿原の保全対策のこれまでの取り組みや今後の対策及び専門委員会における検討経過、ラムサール条約締約国会議への取り組み、ロードヒーティング整備への取り組み、低コストロードヒーティング実用化の試験研究の成果及び今後の取り組み等について  
質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後2時35分休憩、午後3時18分再開。

**高橋 定敏議員（自民）から、**

- ① 農業問題に関し、農業と農村の魅力についての認識、若者にとって楽しく面白い農業づくり等への考え方、過去の本道農業の認識、たくましい農業を目指すとはどのようなこと

か、都市と農村の交流の意義及び今後の取り組み、本道における子供たちの農業体験の実態及び今後の取り組み

- ② 自衛隊に関して、自衛隊の存在に対する認識、今後の自衛隊の各種行事への出席、自衛官募集の協力への見解、自衛官募集業務の把握状況、本道の陸上自衛隊再編統廃合、縮小に対する評価及び長官への申し入れ
- ③ 高校教育に関し、平成2年度の本道の高等学校中途退学者数、中途退学者増加についての認識、中途退学者減少のための方策、公立高校の中途退学者受け入れ態勢等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

**釣部 勲議員（自民）** から、

- ① 石炭政策に関し、本道の現存炭鉱存続に向けての取り組み、産炭地域振興計画推進の方針、石炭企業の経営多角化に対する支援策、産炭地域活性化基金運用益活用に対する基本的考え方、産炭地市町村の現状認識及び支援措置
- ② 過疎地域の振興に関し、全道市町村の7割近くが過疎指定を受けている現状の認識、活性化計画の成果、道内の過疎に準ずる市町村数及びこれら市町村の現況や対策
- ③ 農業問題に関し、農村の情報システム化への取り組み、農村環境整備についての考え方及び今後の取り組み、農業改良普及員と生活改良普及員の定数を削減した理由等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時33分延会。

○3月17日（火） 午前10時15分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第98号を議題とし、一般質問を継続。

**佐藤 時雄議員（自民）** から、

- ① 持続可能な開発に関し、これに対する受けとめ及び評価、環境問題に対する取り組み姿勢、環境に配慮した新たな経済社会システム構築に関する提言のとらえ方及び評価、事業予算における環境への配慮、道有林経営についての考え方、機構改革の必要性
- ② 果樹農業振興に関し、ハックナインの生産

・流通・販売等の現状、ハックナイン販売の把握及び今後の取り組み、フルーツの里づくりモデル事業の考え方及びそれに期待するものの、農道空港の目的や新長計の中での位置づけ及び進捗状況、農道空港の役割及び効果等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**綿貫 健輔議員（自民）** から、

- ① 工業技術開発機能の充実に関し、本道の二次産業の全国での水準及びその原因、地域の工業振興の今後の施策、大学及び工業高等専門学校の存在に対する考え方、技術向上及び機能充実への対処、各地域の拠点形成の特徴、釧路地域の拠点形成を進めるまでの制度及び核になる施設
- ② 支庁の機能充実に関し、市町村と支庁及び支庁と本庁との関係や権限、支庁及び支庁長の権限強化に対する考え方、最近5年間の本庁から支庁へ委譲した権限及び事業、支庁長の権限で執行出来る地域振興に関する政策的予算の程度、その予算の効果、各支庁の企画室の担当事業及びその効果等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**山崎 正隆議員（自民）** から、

- ① 酪農・畜産問題に関し、大規模酪農の生乳生産コストの低減の程度、高能率酪農生産施設導入の状況及び問題点、高能率酪農生産システムの取り組み、酪農ヘルパー事業を行っている事例及びその活用状況、酪農ヘルパーの身分・待遇等の実態、牛肉・乳牛価格低落実態の把握状況及びその対策、乳質の改善向上の取り組み、畜産物価格決定に向けての取り組み
- ② 林業行政に関し、森林法改正の趣旨の受けとめ方、森林整備の取り組み、市町村と森林組合との役割分担、森林生態系研究林設置への構想とスケジュール、道有林の基本計画の策定方法、経営体制の見直し、年次計画、職員の削減予定数、配置転換の方法等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後零時8分休憩、午後1時42分再開。

**久田 恭弘議員（自民）** から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、新年度の経済成長の見通し、景気対策の地元負担及び道単独事業の追加補正に対する考え方、公定歩合についての所見、様々な分野における人づくりについての取り組み、広域公園の整備計画に対する見解
  - ② 道政上の諸課題に関し、新年度予算における小売商業振興対策、これまでの地域中小商業活性化基金に関する事業展開の概要、今後の運用方針、個々の多様な小売商業の振興方法、地域福祉基金の運用法、平成4年度の事業展開、北海道生活文化振興基金の民間協力のための見解、公定歩合が下がったことによる各種基金全体の影響、釧路市及び小樽市の国体誘致に対する考え方、北海道健康づくり指針作成作業の状況及び平成4年度に作成する指針の考え方、道路環境の整備及びドライバーの冬道運転講習の取り組み、スタッズレスタイヤの性能向上についての考え方、ロードヒーティング整備の補助枠拡大への取り組み、参議院の附帯決議の趣旨、大気汚染や道路損傷及び騒音等の問題に対する考え方
  - ③ 生涯学習の推進に関し、基本構想の策定期、生涯学習支援システム整備及び学習機会拡充のための考え方、生涯学習の場の提供方法、新教育長計の後期実施計画策定等について
- 質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

**中崎 昭一議員（自民）** から、

- 北方四島返還に関し、ロシア人に理解を得られやすい理論展開に対する見解、返還後の条件への対応、エリツィン大統領訪日時の謝罪への対応等について

質問があり、知事から答弁があつて、午後3時14分休憩、午後3時44分再開。

**板谷 実議員（民政）** から、

- ① 本道の産業振興に関し、基本原則の受けとめ方、テクノポリス指定についての所見、道央テクノポリス開発計画に対する強化策及び今後の取り組み、職業能力開発計画中の「地域の均衡ある発展」の意義、同計画の方向性、道立技術専門学院の定員減少計画、工業振興・技術力ワンランクアップ方針と執行方針と

の関係、技術専門学院再編の取り扱い、苫小牧の高等技術専門学院の金属加工科が再編整備の対象となる理由、職業訓練短期大学校の設置についての所見、工業技術系科目の縮小再編に対する見解

- ② 苫東開発に関し、推進体制の国との連携に対する見解、苫小牧東部大規模工業基地に対する調査検討内容及び新年度の予算措置
- ③ 港湾等の活用に関し、苫小牧港の検疫物指定に対する所見及び新千歳空港についての見通し、千歳空港の現在のターミナル等の施設の活用、大麦・小麦の輸入港に苫小牧港が追加指定を受けることについての考え方等について

質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、午後4時35分延会。

○ 3月18日（水） 午前10時21分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第98号** を議題とし、一般質問を継続、

**木村 澄男議員（道政）** から、

- 高齢化社会に関し、高齢化社会への対応、シルバーサービス発展へ向けての取り組み、諸外国と比較しての老人ホーム像についての認識、特別養護老人ホームにおける入所者の離床についての対応策、寝たきりゼロ作戦の取り組みと今後の方策、高齢者の生きがい対策、老人クラブの加入率が低い要因、老人クラブ育成に向けての取り組み、全国健康福祉祭誘致及び北海道版 健康福祉祭開催への考え方、高齢者の就業機会確保のための施策及び再就職等の促進に向けての今後の取り組み、高齢者教育についての取り組み及び今後の展開等について

質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

**萩原 信宏議員（共産）** から、

- ① 知事の政治姿勢に関し、侵略戦争及び強制連行についての認識、従軍慰安婦への政府補償に対する見解、慰安所の実態調査実施への見解、開拓殉難者調査実施への見解、強制連行・強制労働の資料公表に対する見解、シベリア抑留者や犠牲者への補償問題及び遺族の

墓参への援助についての見解、地方交付税削減についての考え方、高校授業料値上げについて

- ② 産業・開発問題に関し、水田復元のための特別助成に対する見解、土地改良区償還について返済の現状認識、農民への救済策の検討、土地改良区への指導援助、本道農業の状況についての認識、農業改良普及員削減に対する見解、水産問題への対策
- ③ リゾート問題に関し、トマムでリゾート開発を行っている企業への融資についての見解、トマムのゴミ問題、トマム地区の水道給水量、小規模生活ダム調査への見解、神居山のリゾート開発
- ④ 道民生活に係る問題に関し、道営住宅の空き家解消策、家賃値上げ撤回に対する考え方、労働時間短縮へ向けての取り組み、ホームヘルパー実態についての認識、ホームヘルパーの数やサービス内容の具体化、聴覚障害者情報提供施設新設についての対応
- ⑤ 交通問題に関し、事故多発交差点の対策、脱スパイク指定後の事故発生状況、他の関係機関との連携に対する認識、危険交差点改良に対する考え方、脱スパイクが遅れていること及び推進するまでの問題についての認識、総合的対策のための組織づくりに対する見解
- ⑥ 教育問題に関し、学校5日制実施に際し教育課程の編成及び教育計画の作成についての見解、障害児学校の寄宿舎指導員の充実及び帰省旅費増額に対する見解、交付税措置の大額な改善を要請する考えの有無、学校5日制拡大のためのモデル地域指定や助成制度の検討、美術館・博物館等の無料開放の検討、本道の肥満及び小児成人病の実態、肥満解消へ向けての認識、小児成人病の実態調査の実施及び市町村教育委員会に対する援助の実施等について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁があって、質疑並びに質問を終結。

議長から、予算に関する案件について、本議会に52人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これらの案件を付託の上、審査す

る旨を諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

#### ○予算特別委員（52人）

木村 澄男（道政）	伊藤 政信（社会）
岡本 修（社会）	板谷 実（民政）
明田 辰義（自民）	上田 茂（自民）
川尻 秀之（自民）	鈴部 熨（自民）
山口幸太郎（自民）	山崎 正隆（自民）
神戸 典臣（自民）	桜田 正明（自民）
乙川 節郎（公明）	三津 夾夫（社会）
吉田 栄（社会）	井野 厚（社会）
大橋 晃（共産）	岩井 正明（社会）
鰐谷 忠（社会）	小池 昌（社会）
小山 誠司（社会）	土田 弘（社会）
長沢 徹（社会）	吉田 恵悦（公明）
高橋 一史（自民）	永井 利幸（自民）
野呂 善市（自民）	和田 敬友（自民）
大野 新生（自民）	小野寺 勇（自民）
勝木 省三（自民）	酒井 芳秀（自民）
吉川 貴盛（自民）	青山 章（自民）
高橋 康之（自民）	伊藤 武一（公明）
水野 重男（民政）	西本 美嗣（社会）
大内 良一（社会）	大島 一郎（社会）
谷川 英雅（社会）	岡本栄太郎（社会）
吉野 之雄（社会）	輪島 幸雄（社会）
舟山 広治（社会）	笠島 保（社会）
橋 浪藏（自民）	久田 恭弘（自民）
佐々木利昭（自民）	高木 繁光（自民）
中崎 昭一（自民）	吉田 政一（自民）

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれの所管の常任委員会に付託し、午後零時21分休憩、午後3時52分再開、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後3時53分休憩、午後5時50分再開、諸般の報告の後、

追加日程 議案第88号ないし第98号を議題とし、予算特別、総務、水産林務、建設各委員長から、それぞれの委員会における付託案件の審査の経過と結果について、報告の後、討論に入り、

萩原信宏議員（共産）から、議案第88号、第94号及び第98号に対する反対討論があつて、討

論終結。

採決に入り、議案第88号、第94号及び第98号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって、いずれも委員長報告のとおり可決。次に、追加日程のうち、議案第89号ないし第93号及び第95号ないし第97号を問題とし、いずれも異議なく委員長報告のとおり可決。

各委員会付託議案審査のため、3月19日から3月24日まで休会することを決定し、午後6時7分散会。

### 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました案件のうち、ただいま議題となりました議案第88号ないし第95号につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、本日設置され、今次提案にかかる平成4年度各会計予算及び関連議案等23件並びに平成3年度各会計補正予算8件の31件が付託されたのですが、本委員会といたしましては、直ちに正・副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等について協議いたしました結果、ただいま議題となっております平成3年度各会計補正予算につきましては、年度末も切迫しておりますことから、これを先議することに決定し、直ちに審査を行った次第であります。

質疑の主なものを申し上げますと、

財政運営等に関し、財政運営の見通し、基金の状況、今後の財政需要への対応方策、最近における税収動向の認識、当面の景気対策、今後の財政運営などに対する見解。

土地開発基金に関し、基金の増額の理由、今後の基金の活用方策などに関する見解。

中小商業活性化基金に関し、基金の運用状況、本年度の助成対象事業など。

北方型住宅建設資金特別融資制度等に関し、予算の大幅減額補正の内容、制度の利用状況及び利用促進方策などに対する見解。

水産問題に関し、国際漁業再編対策事業費補助金の内容、国際漁業の規制強化に伴う具体的対策、公海流し網漁業存続運動の進め方と関連

する問題など。

造林補助金等に関し、造林補助金返還金に対する見解及び返還金収入の状況など。

私学対策に関し、私学振興費の減額補正の理由、奨学生の適用基準の緩和に対する見解、一部私立高校における入学一時金の先取り措置に対する道の指導の考え方など。

農政問題に関し、農業農村整備事業の道の負担額、奥尻町の肉牛農家の経営状況などであります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図りました結果、議案第88号及び第94号につきましては、意見の一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第89号ないし第93号及び第95号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会において先議いたしました議案の審査経過と結果を申し上げた次第であります。が、平成4年度各会計予算及びこれに関する議案につきましては、速やかに審査を行い、後日、御報告申し上げたいと存じます。

以上をもちまして、私の報告を終わります。

○3月25日（水） 午後4時51分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第87号並びに

日程第2 決議案第2号を一括議題とし、予算特別副委員長、総務委員長、生活福祉委員長、保健環境委員長、商工労働観光副委員長、農政委員長、建設委員長、水産林務委員長、文教委員長からそれぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と結果について、報告。

決議案第2号について、大橋晃議員（共産）から提案の説明の後、委員会付託を省略の上、討論に入り、

萩原信宏議員（共産）から、議案第1号、第16号ないし第18号、第25号、第29号ないし第38号、第42号、第44号ないし第50号、第52号、第54号、第56号、第58号、第59号、第62号、第63号、第65号、第66号、第68号ないし第72号、第77号、第80号及び第81号に関する反対討論並びに議案第15号、第19号及び第24号に関する賛成討論があって、討論を終結。

採決に入り、日程第2決議案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって否決。

次に、日程第1のうち、議案第1号、第16号ないし第18号、第25号、第29号ないし第38号、第42号、第44号ないし第50号、第52号、第54号、第56号、第58号、第59号、第62号、第63号、第65号、第66号、第68号ないし第72号、第77号、第80号及び第81号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決。

次に、日程第1のうち、議案第2号ないし第15号、第19号ないし第24号、第26号ないし第28号、第39号ないし第41号、第43号、第51号、第53号、第55号、第57号、第60号、第61号、第64号、第67号、第73号ないし第76号、第78号、第79号及び第82号ないし第87号を問題とし、異議なくいすれも委員長報告のとおり可決。

**日程第3 石狩西部広域水道企業団議会議員の選挙**を議題とし、指名推選の方法をもって、議長指名により、永井利幸議員（自民）、高橋庸議員（社会）を当選人と決定。

**日程第4 意見案第4号及び第5号**を議題とし、意見案第4号について萩原信宏議員（共産）から提案説明、意見案第5号については、提出者の説明を省略の上、いすれも委員会付託を省略し、採決に入り、日程第4のうち、意見案第4号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって、否決。次に、日程第4のうち、意見案第5号を問題とし、異議なく原案のとおり可決。

**日程第5 意見案第6号ないし第8号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いすれも原案のとおり可決。

前会より継続審査中の報告第1号継続審査の件について、決算特別委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査に付することに決定。

次に閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について各常任委員長並びに議会運営委員長及び道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査または調査に付することに決定。

今期定期会の会議に付議された案件は報告第1号を除き、すべて議了。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後5時53分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案のうち、さきに御報告申し上げた先議案件を除く議案第1号ないし第18号、第24号、第77号及び第83号ないし第85号の23件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

これらの議案の審査方法につきましては、去る3月18日の委員会におきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに3分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、 委員長に 神戸 典臣君

副委員長に 鰐谷 忠君

第2分科会は、 委員長に 井野 厚君

副委員長に 和田 敬友君

第3分科会は、 委員長に 高橋 一史君

副委員長に 岩井 正明君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、3月19日から各部所管の審査に入り、3月24日をもって各分科会の質疑を終了し、本日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

御承知のとおり、今回付託されました先議案件を除く案件は、平成4年度一般会計及び特別会計を合わせ、総額2兆6,877億9,100万円余に及ぶ予算並びにこれに関連する議案であります。これららの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、分科会において質疑保留となった事項、すなわち、道道士幌然別湖線について、本日、総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案について意見の調整を図りました結果、議案第

1号、第16号ないし第18号及び第77号は、意見の一一致を見るに至らず、採決の結果、賛成者多数をもって原案可決、その他の案件、すなわち、議案第2号ないし第15号、第24号及び第83号ないし第85号は、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、審査の経緯にかんがみ、次の意見、すなわち、

1. 國際エアカーゴ基地建設推進のためには、新千歳空港の24時間運用が緊急の課題となっている。

したがって、道は、地域住民の理解と協力を得て、早期実現に向け積極的に取り組むべきである。

1. 牛肉の輸入自由化による収益の減少や生産費用の増加などにより、大変厳しい状況にある本道酪農・畜産経営の健全な発展を図るために、加工原料乳保証価格などの確固たる価格政策を国に強く求めるとともに、経営体質の強化対策などを積極的に推進すべきである。

1. 低所得者等を対象とする道営住宅の整備については、老朽改善等入居者の居住環境の整備拡充を図るなど、より一層の環境整備に取り組むとともに、高齢者や障害を持った方々が安心して暮らせる道営住宅の建設に積極的に取り組むこと。

1. 道立高校の授業料の値上げに関連し、今後、計画的な語学演習装置並びに産業教育設備等の整備を進めるなど、教育条件の整備充実を図るとともに、父母負担の軽減に、より一層取り組むこと。

との附帯意見を付されたいとの動議が提出され、採決の結果、賛成者多数をもって、これを決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

## 〈知事提出〉

### 第1回定例会において提出のあった案件

#### 議 案

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 25	1	平成4年度北海道一般会計予算	予算特別	3. 25	原案可決
同	2	平成4年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計予算	同	同	同
同	3	平成4年度北海道公債管理特別会計予算	同	同	同
同	4	平成4年度北海道母子福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	5	平成4年度北海道寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	6	平成4年度北海道小児総合保健センター事業特別会計予算	同	同	同
同	7	平成4年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	8	平成4年度北海道農業改良資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	9	平成4年度北海道林業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	10	平成4年度北海道沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計予算	同	同	同
同	11	平成4年度北海道公共下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	12	平成4年度北海道流域下水道事業特別会計予算	同	同	同
同	13	平成4年度北海道地方競馬特別会計予算	同	同	同
同	14	平成4年度北海道病院事業会計予算	同	同	同
同	15	平成4年度北海道有林野事業会計予算	同	同	同
同	16	平成4年度北海道工業団地開発事業会計予算	同	同	同
同	17	平成4年度北海道電気事業会計予算	同	同	同
同	18	平成4年度北海道工業用水道事業会計予算	同	同	同
同	19	北海道職員等の育児休業等に関する条例案	総務	同	同
同	20	北海道公債管理特別会計条例案	同	同	同
同	21	札幌医科大学附属病院使用料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	22	北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	23	北海道議會議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	24	北海道職員等の定数に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	25	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	26	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	27	北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例案	生活福祉	同	同
同	28	北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	29	北海道病院事業条例及び北海道立診療所条例の一部を改正する条例案	保健環境	同	同
同	30	北海道保健所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	31	北海道立衛生研究所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	32	北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 25	33	北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案	保健環境	3. 25	原案可決
同	34	北海道立精神保健センター条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	35	食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	36	かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	37	化製場等に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	38	興行場法施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	39	北海道急性中毒患者届出条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	40	北海道公害防止条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	41	北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	42	北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	43	北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	44	北海道危険動物飼養規制条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	45	北海道立開拓の村条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	46	北海道大規模小売店舗審議会条例の一部を改正する条例案	商工労働 観光	同	同
同	47	北海道企業立地促進条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	48	北海道立工業試験場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	49	北海道立工業技術センター条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	50	北海道立地下資源調査所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	51	国営土地改良事業負担金等徴収条例等の一部を改正する条例案	農政	同	同
同	52	北海道立農業試験場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	53	北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	54	北海道種馬鈴しよ生産販売取締条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	55	北海道農産物検査条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	56	北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	57	北海道みつばち転飼条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	58	北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案	建設	同	同
同	59	北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	60	北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	61	風致地区内建築等規制条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	62	北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	63	北海道立寒地住宅都市研究所条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	64	北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	65	北海道立水産試験場条例の一部を改正する条例案	水産林務	同	同
同	66	北海道立水産孵化場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	67	北海道水産物検査条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	68	北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	69	北海道立林産試験場条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	70	北海道木材業者製材業者合板及び単板業者登録条例の一部を改正する条例案	同	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 25	71	北海道立教職員検診センター条例の一部を改正する条例案	文教	3. 25	原案可決
同	72	北海道立学校条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	73	北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	74	北海道文化財保護条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	75	闘犬、闘牛、闘鶏等取締条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	76	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	77	北海道地方警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例案	予算特別	同	同
同	78	金属くず回収業に関する条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	79	公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	80	北海道自動車保管場所証明等手数料条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	81	北海道職業訓練指導員訓練受講料条例を廃止する条例案	商工労働観光	同	同
同	82	北海道渡船場取締条例を廃止する条例案	建設	同	同
同	83	宝くじの発売に関する件	予算特別	同	同
同	84	全国自治宝くじ事務協議会への千葉市の加入及びこれに伴う全国自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更に関する件	同	同	同
同	85	関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会への千葉市の加入及びこれに伴う関東・中部・東北自治宝くじ事務協議会規約の一部の変更に関する件	同	同	同
同	86	河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件	建設	同	同
同	87	石狩湾新港管理組合規約の一部改正に関する件	同	同	同
3. 4	88	平成3年度北海道一般会計補正予算(第6号)	予算特別	3. 18	同
同	89	平成3年度北海道札幌医科大学附属病院特別会計補正予算(第4号)	同	同	同
同	90	平成3年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	91	平成3年度北海道公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	92	平成3年度北海道地方競馬特別会計補正予算(第4号)	同	同	同
同	93	平成3年度北海道有林野事業会計補正予算(第2号)	同	同	同
同	94	平成3年度北海道工業団地開発事業会計補正予算(第3号)	同	同	同
同	95	平成3年度北海道工業用水道事業会計補正予算(第1号)	同	同	同
同	96	北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案	総務	同	同
同	97	北海道水産加工経営改善強化資金融通助成事業基金条例を廃止する条例案	水産林務	同	同
同	98	都市公園事業に伴う地方公共團体の負担金に関する件	建設	同	同

## 報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
2. 25	1	専決処分報告の件(工事請負契約の変更に関する件、工事請負契約の締結〔平成3年5月9日報告をした報告第2号に係るもの〕2月14日専決処分)			報告のみ
同	2	専決処分報告の件(損害賠償の額の決定、2月5日1件、2月13日2件、2月19日1件専決処分)			同

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
3.12.10	1	平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	3. 25	継続審査

〈議員提出〉

第1回定例会において提出のあった案件

決議案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 5	1	阿部文男衆議院議員の辞職勧告及び道議会の権威保持に関する決議	桜田正明議員ほか5人	3. 6	原案可決
3. 24	2	道営住宅賃値上げの撤回を求める決議	大橋 晃議員ほか1人	3. 25	否決

意見案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
3. 5	1	農畜産物の完全自由化につながる「包括的な関税化」の拒否に関する意見書	桜田正明議員ほか5人	3. 6	原案可決
3. 6	2	酪農・畜産振興施策に関する意見書	大野新生議員ほか13人	同	同
同	3	北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見書	吉野之雄議員ほか23人	同	同
3. 25	4	企業との癒着など政治腐敗の根絶を求める意見書	大橋 晃議員ほか1人	3. 25	否決
同	5	清潔な政治の確立を求める意見書	桜田正明議員ほか4人	同	原案可決
同	6	保健・医療・福祉マンパワーの確保を求める意見書	工藤啓二議員ほか26人	同	同
同	7	パートタイム労働者の労働条件改善に関する意見書	伊達忠一議員ほか12人	同	同
同	8	外国産馬の出走制限緩和に関する意見書	大野新生議員ほか13人	同	同

# 決議案

## 決議案第1号 阿部文男衆議院議員の辞職勧告及び道議会の権威保持に関する決議

(平成4年1定  
（桜田正明議員ほか5人提出）  
平成4年3月6日原案可決)

さきのリクルート事件をはじめとして、この度の共和事件、さらには佐川急便事件など、政治家にからむ汚職ないしは不詳事が相次いでいることは、国民の信頼を基本とする、民主政治の根幹を危うくするものであり、政治倫理の早急な確立が国民の強い要求となっている。

とくに、阿部文男衆議院議員が、株式会社共和にかかる北海道・沖縄開発庁長官在任中の職務権限に伴う受託収賄容疑により起訴されるに至ったことは、選挙民に対する重大な背信行為であるばかりか、政治に対する国民の信頼を著しく損うものであり、到底許されるべきものではない。

さらに最近に至って、三沢道男前北海道議会議員が、議員在任中に行った恐喝の容疑で起訴されるという事件が発生し、北海道議会の権威と、道議会議員の信頼を著しく失墜したことは、極めて遺憾なことである。

政治家の使命は、常に清廉に身を処し、国民の負託に応えていくべきものであり、このことは国政と地方行政の如何を問わないことは当然である。

よって、北海道議会は、阿部文男衆議院議員が、政治的、道義的責任の重大さを自覚し、衆議院議員の職を辞すべきことを求めるとともに、道議会議員が自らの使命を自覚し、政治倫理の確立にむけて、最大の努力を傾注すべきことを表明するものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

## 決議案第2号 道営住宅家賃値上げの撤回を求める決議

(平成4年1定  
（大橋晃議員ほか1人提出）  
平成4年3月25日 否決)

道は、道営住宅など使用料・手数料83項目の値上げを提案した。

道営住宅家賃については平均7%、約2千円の値上げを提案したが、最高6千9百円の大額値上げとなるなど、入居者の家計を著しく圧迫するものである。道営住宅の空き家は2千3百戸と一割を超えるという異常事態となっているが、この空き家の半分を埋めれば、値上げは全く不要である。

道営住宅を管理する道としては安易に値上げを行うのではなく、空き家解消方策をとるとともに行き届いた修理改善を進めるべきである。

よって、道営住宅家賃の値上げを撤回すべきである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

## 意 見 案

### 意見案第1号 農畜産物の完全自由化につながる「包括的な関税化」の拒否に関する意見書

(平成4年1定  
桜田正明議員ほか5人提出)  
平成4年3月6日原案可決

現在、協議が進められているガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉においては、昨年末、ガット事務局長が提示した合意文書案をもとに行われているが、この合意案では、国境措置については「包括的な関税化」とされており、農畜産物輸入の完全自由化につながるものである。

北海道農業は、我が国における食料供給基地として安全で良質な食料の安定供給に重要な役割を担って、懸命な努力を重ねているが、米や乳製品、でん粉等は、北海道農業の基幹作物であり、この関税化は、農業はもとより、地域の経済、社会に壊滅的な打撃を与える懸念がある。

よって、国は、今後の農業交渉等に当たり、毅然たる態度で不退転の決意をもって対処し、左記事項を実現するよう強く要望する。

#### 記

1. 農畜産物の完全自由化につながる「包括的な関税化」を拒否し、米の国内完全自給の方針を堅持すること。
2. ガット第11条第2項(C)を明確化して、その存続を図り、乳製品、でん粉、雑豆等の現行輸入規制措置を堅持すること。
3. 政府高官による「包括的な関税化」を容認するが如き発言は、厳に慎むこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、外務大臣  
通商産業大臣、農林水産大臣 各通

### 意見案第2号 酪農・畜産振興施策に関する意見書

(平成4年1定  
大野新生議員ほか13人提出)  
平成4年3月6日原案可決

本道の酪農・畜産は、恵まれた土地資源を活用し、生産性の向上や低コストで良質かつ安全な畜産物の安定供給に鋭意努力しているが、最近、牛肉の輸入自由化等により経営収支は大きく悪化するとともに、ガット・ウルグアイ・ラウンド交渉も全く予断を許さない状況にあることから、酪農・畜産の将来に対する不安が一段と強まり、農家戸数が減少するなど大変厳しい状況にある。

このような状況の中で、本道酪農・畜産の健全な発展を図っていくためには、急激に悪化した経営収支を改善し、生産者が安心して営農に励めるような確固たる価格政策や経営の体質強化対策などを推進する必要がある。

国においては、本道の酪農・畜産の現状を十分認識し、その安定的な発展を図る観点に立って、左記事項について適切な措置を講ずるよう強く要望する。

## 1 乳製品の輸入規制措置の堅持について

乳製品については、国内での生産供給を基本として、現行輸入規制措置を堅持すること。

## 2 平成4年度畜産物価格等について

## (1) 加工原料乳保証価格等について

加工原料乳保証価格については、最近における子牛価格の低落など酪農経営の実態を十分考慮し、経営収支の悪化が回復できる価格を実現すること。

また、限度数量については、ゆとりある需給計画に基づき適正に設定すること。

## (2) 肉用子牛の保証基準価格等について

肉用子牛の保証基準価格等については、生産者が意欲と将来展望を持って生産に取り組めるよう、肉用牛生産の実態を十分反映した設定を行うこと。また、合理化目標価格については、輸入牛肉に対抗し得る牛肉生産が十分確保できる価格に設定すること。

## (3) 指定食肉安定価格について

牛肉及び豚肉の安定価格については、再生産の確保と経営の安定が図られるよう、適正に設定すること。

## 3 酪農・畜産の生産振興対策等について

酪農・畜産経営の安定を図るため、低コスト生産の推進や経営改善などに必要な次の対策を講ずること。

## (1) 国産チーズ生産振興対策について

国内生乳需要の拡大を図るため、国産ナチュラルチーズの生産振興対策を講ずること。

## (2) 生乳の安定生産対策について

中長期的な需給計画に基づく生乳の安定生産を推進するとともに、需給調整に必要な対策を講ずること。

## (3) 担い手確保対策について

農家子弟の酪農研修や都市青少年との交流など、将来を見通した幅広い担い手確保対策を講ずること。

また、酪農ヘルパー制度については、その円滑な運営が図られるよう適切な措置を講ずること。

## (4) 農業生産資材の価格安定等について

生産コストに大きなウエイトを占める農業生産資材の価格と供給の安定が図られるよう、業界指導の強化など適切な措置を講ずること。

## (5) 経営体质の強化対策について

ア 酪農の生産基盤を確立するため、優良な乳用牛の確保対策や乳質向上対策を講ずるとともに、乳肉複合経営対策を継続・強化すること。

イ 肉用牛の生産基盤を確立するため、子牛の生産拡大や肥育経営安定緊急対策等を継続実施すること。

ウ 生産性の高い酪農・肉用牛経営を確立するため、飼料コストの低減と良質粗飼料の生産拡大に必要な対策を拡充強化すること。

エ 養豚の生産基盤を確立するため、優良種豚の導入など必要な対策を講ずること。

オ 地域酪農の活性化を図るため、地域の実情に応じた創意工夫によるコストの低減や効率的な生産体制の整備に必要な対策を講ずること。

カ 酪農・肉用牛経営の体质強化を図るため、大家畜経営体质強化資金の後対策について検討すること。

## (6) 消費拡大対策について

- ア 牛乳・乳製品及び食肉の需要の拡大を図るため、消費拡大や新規用途開発に必要な対策を講ずること。
- イ 飲用需要の動向に即し、良質な牛乳を低コストで供給するための広域流通体制の整備や飲用牛乳市場の安定に必要な対策を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣} 各通  
農林水産大臣

### 意見案第3号 北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見書

(平成4年1定  
吉野之雄議員ほか23人提出)  
平成4年3月6日原案可決

このたび、ロシア連邦が韓国漁船に対し、我が国固有の領土である北方領土の周辺海域における操業許可を与えたことは、北方領土問題の解決を含む平和条約の締結に関する日露両国間の外交交渉が重要な時期をむかえているときだけに、道民は重大な关心と危惧の念を抱いている。

また、これらを含む北方海域は、本道の漁業者が永年にわたり、旧ソ連邦との協定に基づき漁業を継続してきた主要な漁場であり、韓国漁船の操業は、本道漁船の操業に大きな影響を与えることが懸念される。

よって、政府におかれでは、かかる事態に対し、日露間における今後の領土問題の交渉に支障が生じないようにするとともに、本道漁民の安定的な操業が確保されるよう適切に対処されることを強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、外務大臣} 各通  
農林水産大臣、総務庁長官

### 意見案第4号 企業との癒着など政政腐敗の根絶を求める意見書

(平成4年1定  
大橋 晃議員ほか1人提出)  
平成4年3月25日 否決

ロッキード、リクルート疑惑に続く共和・阿部事件の発覚、更には佐川急便をめぐる疑惑など企業と政治家の癒着事件の続発は、政治への国民の信頼を著しく失わしめている。

これ以上金権腐敗政治を放置することは、国民の政治への不信を強めるだけでなく、議会制民主主義の基礎を崩壊させる重大事である。

よって、政府においては、公選法違反による連座制を強化するとともに、企業・団体の政治献金を禁止し、清潔な政治を築くための実効ある措置を早急に講じられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、自治大臣 各通

## 意見案第5号 清潔な政治の確立を求める意見書

(平成4年1定  
桜田正明議員ほか4人提出)  
(平成4年3月25日原案可決)

リクルート事件・共和事件・佐川急便事件、さらには本道におけるほくさん事件など国民の政治に対する信頼が樹なわれている。

いま、国民はこの徹底的究明と政治腐敗防止の立法化を強く求めている。

よって、政府においては、政治改革を早急に実施するなど清潔な政治を確立するため一日も早く実効ある措置を講じられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、自治大臣 各通

## 意見案第6号 保健・医療・福祉マンパワーの確保を求める意見書

(平成4年1定  
工藤啓二議員ほか26人提出)  
(平成4年3月25日原案可決)

本格的な高齢化社会を迎えており、国民の保健医療、福祉サービスを担う保健婦、看護婦（士）、介護従事者、ホームヘルパーなどを中心とするマンパワー確保対策の確立は緊急の課題である。

国は高齢化時代に対処するため「高齢者保健福祉推進十か年戦略」を策定したが、人手不足の実態から、夜勤回数の増加など労働条件の低下を招いていることがマンパワーの確保をさらに困難にしており、目標の達成が危ぶまれている状況にある。

こうした実態を放置すれば、地方自治体が担う地域の医療や福祉に重大な影響を与える危険がある。

よって、保健・医療・福祉のマンパワーを確保するため、看護婦等の人材確保の促進に関する法律の早期制定を図るとともに、具体的、計画的な対策を早急に実施するよう求めるものである。

記

1. 看護職員および介護職員等の賃金、労働条件の大幅な改善を図ること。

そのため、職員の配置基準、社会保健診療報酬の看護料、社会福祉施設の措置費などの具体的改善を行うこと。

2. 複数夜間勤務の拡大、夜勤回数の軽減および労働条件の改善を図り、労働時間の短縮、完全週休2日制の実現を図ること。

3. 育児休業、介護休暇、夜間保育の充実など総合的な福利厚生の改善措置を講ずること。

4. 保健医療、福祉に携わる専門職の計画的な養成確保と養成校への助成拡大を図るとともに、再就職のための教育、訓練を含めて生涯教育、研修体制の確立を図ること。

5. 保健医療、福祉サービスに働くパートタイム労働者の賃金・労働条件の改善、雇用の安定を図るために「短時間労働者保護法」（パート労働法）の制定の措置を行うこと。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狹 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、自治大臣  
厚生大臣、労働大臣、文部大臣 } 各通

## 意見案第7号 パートタイム労働者の労働条件改善に関する意見書

(平成4年1定  
伊達忠一議員ほか12人提出)  
(平成4年3月25日原案可決)

パートタイム労働者の数は年々増加し、現在約8百万人ともいわれ、わが国経済や地域経済の発展に欠くことのできない重要な存在となっている。

パートタイム労働は、働く側にとって家事や育児等と両立できる就業形態として、また、企業にとって、不可欠な労働力としてその需給が定着し、今後さらに増加していく傾向にある。

こうした状況下にありながら、パートタイム労働者を対象とした保護法令は未整備であり、その社会的地位、労働条件及び福祉などは不十分な状態にある。

よって、政府は、これらパートタイム労働者の労働条件の改善、生活の安定及び福祉の向上などを図るために、左記の施策について速やかに実現を図るよう強く要望する。

記

- 1 パートタイム労働者及び家内労働者の非課税限度額について、現行の百万円を引き上げること。
- 2 パートタイム労働者に対する職業訓練指導等を行うこと。そのための設備の整備を図ること。
- 3 パートタイム労働者の社会保険の適用率の向上を図るほか、パートタイム労働を希望する高齢者に雇用の場が提供できるよう行政指導を強化すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣}  
労働大臣 各通

## 意見案第8号 外国産馬の出走制限緩和に関する意見書

(平成4年1定  
大野新生議員ほか13人提出)  
(平成4年3月25日原案可決)

我が国の軽種馬生産は競馬振興とともに歩み続け、幾多の経営危機を克服しながら中央・地方の競馬界に良質馬を安定的に供給し、今日の競馬隆盛時代を支えてきた。

特に、我が国の軽種馬生産の90パーセントを占める本道では重要な基幹産業として発展し、なかでも日高管内においては、農業粗生産額の70パーセントを占め、地域経済の中心となっている。

こうした中で、今般、日本中央競馬会は外国産馬の出走制限を今後5年間で大幅に緩和すると発表したが、欧米の生産基盤と我が国とでは歴史的にも飼養環境条件が異なり、その格差はジャパンカップレースに見られるように歴然としている。

この方針が計画通り実行されれば、生産者はもちろん地域経済にも壊滅的な打撃を与え、ひいては地域社会の崩壊をもたらすことが必至である。

よって、国においては、こうした実態を十分踏まえ、外国産馬に対する出走制限の緩和計画を再検討し、今後とも生産地域の振興と密着した競馬を強力に推進するよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若狭 靖

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

## 請　願・陳　情

① 第1回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

### 請　願

文書表番号	件名	請　願　者	付　託　委員会	審査の結果
43	道営住宅の家賃値上げ中止を求める件	北海道公営住宅協議会 会長 竹内栄次郎	建設	継続審査
44	在職老齢厚生年金の支給率の改善を求める件	網走年金組合 執行委員長 小田 富雄	生活福祉	同
45	福島町立浦和小学校への早期水道設置の指導を求める件	福島町浦和 土門 忠紀(外1人)	文教	同
46	道営住宅家賃の値上げ撤回を求める件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 石井 清治	建設	同
47	92年度道予算における公共料金引上げ反対に関する件	北海道92国民春闘共闘委員会 代表 山口 康夫	同	同
48	同	同	文教	同
49	平取養護学校に高等部の併設を求める件	平取障害児の高等部増設を進める会「春風」 代表 高島 博子	同	同
50	従軍慰安婦問題等日本の戦後責任をはたすために資料公開、謝罪・補償を求める件	朝鮮女性と連帯する北海道の会 会長 荒野 洋子(外5件)	総務	同

### 陳　情

文書表番号	件名	陳　情　者	付　託　委員会	審査の結果
11	エゾシカ食肉化等に関する件	動物の会FWFA 代表 平井百合子	農政	継続審査
12	公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件	函館地方漁網団体連絡協議会 会長 佐々木昌平	商工労働 観光	同
13	同	同	水産林務	同
14	エゾシカの食肉化と被害防止対策に関する件	北海道自然保護連合 代表 稲田 孝治	農政	同

② 継続審査中のものであって、第1回定例会において採否の決定があったもの。

### 請　願

文書表番号	件名	請　願　者	付　託　委員会	審査の結果
20	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件	北海道教職員組合中央執行委員長 兼吉 哲郎	文教	議決不要
21	苫小牧東高校・苫小牧南高校・苫小牧工業高校・白老東高校からの各一字級削減に反対する件	苫小牧公立高校新設をすすめる会 代表 佐藤 弘毅	同	同
31	滝川高等学校学級数の現状の維持を求める件	北海道滝川高等学校教職員一同 代表 塙 良一	同	同

## 陳 情

文書表番号	件 名	陳情者	付託委員会	審査の結果
5	義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度堅持に関する件	北海道学校事務労働組合委員長 直島 峰夫	文教	議決不要
10	小樽工業高校の学級削減案の白紙撤回を求める件	北海道小樽工業高等学校P.T.A 会長 氏家 靖洲(外1人)	同	同

③ 更に継続審査されるもの。

## 請 願

文書表番号	件 名	付託委員会
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関する件	総務
7	「北海道分県」の実現を求める件	同
9	小選挙区制導入に反対する決議を求める件	同
16	小選挙区制の導入に反対する意見書の採択を求める件	同
17	馬追丘陵におけるゴルフ場造成計画に関する件	同
19	李恩恵拉致事件の真相究明及び原状回復を求める意見書提出に関する件	同
10	白内障治療の眼内レンズ補助に関する件	生活福祉
11	在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件	同
13	国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件	同
22	18歳到達による児童扶養手当支給喪失者に対する支給延長制度に関する件	同
41	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
5	北海道看護婦職員養成修学資金の貸付枠拡大を求める件	保健環境
6	北海道立寿都病院の町移管に反対する件	同
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	同
23	6歳未満児の歯科治療費に対する助成を求める件	同
42	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
1	ホッカイドウ競馬専用場外発売所を薄野に開設することに反対する件	農政
2	道営競馬札幌場外馬券発売所をススキノ周辺地区に開設することに反対する件	同
3	私学助成の抜本的拡充と小中高35人以下学級の早期実現を求める件	文教
8	子供たちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現を求める件	同
24	岩見沢の高校間口削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	同
25	ゆたかな高校教育を保障するために、学級削減に反対し、40人以下学級の実現を求める件	同
26	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	同
27	足寄高校の4学級維持と、35人以下学級の早期実現を求める件	同
28	滝川西高等学校の間口維持及び高校の40人以下学級の実現を求める件	同
29	江差高校、熊石高校、上ノ国高校の間口削減に反対する件	同
30	函館中部・工業・商業・東・上磯・七飯高校の間口削減、函館西高校定時制募集停止に反対する件	同

文書表番号	件名	付託委員会
32	網走第四学区の高校間口の存続と40人以下学級の早期実現を求める件	文教
33	道立高等学校入学検定料、入学料値上げに反対する件	同
34	函館東高校の間口削減に反対する件	同
35	八雲高等学校（普通科）の間口削減に反対する件	同
36	高等学校40人学級の早期実施を求める件	同
37	ゆたかな私学教育の実現を求める件	同
38	旭川工業高等学校に設備工業科の設置を求める件	同
39	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	同
40	道内公立高校40人学級の主要都市への実施を求める件	同

### 陳 情

文書表番号	件名	付託委員会
4	北海道の気象事業整備・拡充を求める件	総務
6	千歳市のゴルフ場新設計画に関する件	同
3	産業廃棄物の不適正処理への指導強化を求める件	保健環境
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	同
1	道営競馬場外馬券発売所の札幌都心部（ススキノ地区）への移設推進に関する件	農政
2	薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件	同
8	道営競馬札幌場外馬券発売所の西創成地区（南6条西5丁目）への移設推進に関する件	同
7	千歳市におけるゴルフ場造成等による森林の大規模開発を全面凍結し、国の天然記念物クマゲラの生息地を守る野鳥生息地調査の実施を求める件	文教

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○ 2月18日（火） 開議 午後1時53分

散会 午後1時58分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 第1回定例会の招集期日を2月25日とすること、会期は30日間とすることを決定。
- ② 総務部長から、第1回定例会の提出予定案件について説明。
- ③ 第1回定例会の日程について、次のとおり取り進めることを決定。

### ▽ 第1回定例会

2月25日 本会議（道政執行方針並びに提案説明、教育行政執行方針）

26日

～3月1日 休会

3月2日・3日 本会議（代表質問）

4日～6日 本会議（一般質問）

7日・8日 休会

9日・10日 本会議（一般質問）

11日 本会議（一般質問、予算特別委員会設置）

12日 本会議（補正予算議決）

13日～24日 休会

25日 本会議

- ④ 代表質問について、順位は自民、社会、公明、民政の順とすることを了承。質問残時間周知方法について決定。

- ⑤ 本会議等における事務局職員による議員の呼称について、従前は「〇〇君」であったが、今後は「〇〇議員」と改めることを了承。

○ 2月24日（月） 開議 午前11時46分

散会 午前11時52分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 元道議会議員奥野一雄氏の逝去（函館市選出、第18期～20期在職、2月17日逝去）について報告。
- ② 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 代表質問の通告について、2月29日正午までに提出することを了承。
- ④ 一般質問について、順位は、従前の例により取り進めることを了承。通告は3月2日正午までに提出することを了承。
- ⑤ 予算特別委員会について、委員会構成及び正副委員長の配分については配付資料のとおりとなることを了承。委員名簿について、3月9日正午まで提出することを了承。
- ⑥ 議案調査のため、2月26日から2月29日まで休会、3月2日再開することを決定。
- ⑦ 議会運営に関する検討事項について、さきに申し合わせた「再質問以降の発言時間については、直前の質問時間の範囲内とし、その範囲は、概ね2分の1とするよう努めることとする。」の「直前の質問時間」の考え方には、通告質問時間を基準とし、再質問以降のランプ点灯については、通告質問時間の2分の1を基準とする旨決定。
- ⑧ HBCから、明日の本会議の録画撮影及び録音のため、演壇上にマイクを設置したい旨の申し出があり、議長が許可した旨を報告の後、了承。
- ⑨ 2月25日の本会議議事順序については、明日、協議することを了承。

○ 2月25日（火） 開議 午前9時33分

散会 午前9時35分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月2日（月） 開議 午後零時38分

散会 午後4時30分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 元道議会議員佐野法幸氏の逝去（紋別市選

出、第15期～19期在職、2月27日逝去）について報告。

② 代表質問の通告（4人）について報告。

③ 代表質問の進め方について、本日1人、明日3人を行うことを決定。

④ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。午後零時39分休憩、午後4時29分再開。

⑤ 総務部長から、本日の本会議における桜井外治議員（自民）の再質問に対する知事の答弁準備に時間を要する旨の発言の後、了承。

⑥ 石川十四夫議員（道政）から、今回の延会はやむを得ないが、定例会の効率化の論議を踏まえて早期再開するよう要請の後、延会を決定。

### ○3月3日（火） 開議 午前9時45分

散会 午後3時28分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

① 総務部長から、昨日の桜井外治議員（自民）の再質問に対する知事の答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、了承。

② 総務部長から、明4日に追加提出を予定している案件は、平成3年度最終補正予算案などである旨説明の後、了承。

③ 一般質問の通告（25人）について報告。

④ 一般質問の諸派の順位については輪番制とすることとなっており、今回は道政クラブ、共産党の順となることを了承。個人別順位について、各会派内における順位等に別がないことを確認の後、議事課長説明のとおりとすることを了承。

⑤ 一般質問の進め方については、改めて協議することを了承。午前9時49分休憩、午後3時26分再開。

⑥ 総務部長から、桜井議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は桜井議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを決定。

⑦ 代表質問の通告内容等の変更について、了承。

⑧ 本日の本会議について、桜井議員の代表質問の継続を行い、延会することを決定。

⑨ 代表質問の残り3名については、明4日を行うことを決定。

### ○3月4日（水） 開議 午前9時40分

散会 午後4時14分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

① 総務部長から、桜井外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。

② 総務部長から、本日、追加提出予定の案件について説明の後、本日、提出することを了承。本件に関する知事の提案説明の時期は、改めて協議すること、議案第86号及び第88号ないし第98号については、先議する扱いとし、日程等については、後日、協議することを決定。

③ 総務部長から、鈴木弘泰副知事が衆議院の石炭対策特別委員会における石炭関係諸法の改正案審査に関して、意見陳述のため参考人として当委員会に出席する必要があるため、4日の本会議を欠席したい旨発言の後、了承。

④ 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することを決定。

### ○3月5日（木） 開議 午前9時36分

散会 午後4時4分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

① 総務部長から、3月3日の桜井外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。午前9時37分休憩、午後4時3分再開。

② 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、本日の本会議は日程を延期し、延会することを決定。

○ 3月6日（金） 開議 午前9時34分

散会 午後3時30分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、3月3日の桜井 外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。午前9時35分休憩、午後3時26分再開。
- ② 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。
- ③ 決議案第1号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において日程第1の議事を中止し、追加日程として上程し、議決する扱いとすることを決定。
- ④ 意見案第1号ないし第3号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において日程第1の議事を中止し、追加日程として上程し、議決する扱いとすることを決定。
- ⑤ 本日の本会議について、追加日程の決議案、意見案を議決した後、延会することを決定。
- ⑥ 議案調査のため、3月7日は休会、3月9日午後1時再開することを決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月9日（月） 開議 午後零時48分

散会 午後4時25分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、3月3日の桜井 外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。午後零時49分休憩、午後4時20分再開。
- ② 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言。
- ③ 野呂善市委員（自民）から、時間もかなり経過しているので、理事者の適切な対応方について発言。

④ 大橋 晃議員（共産）から、後の審議への影響、質疑中断の取扱い等について意見、要望があり、委員長から承っておく旨発言。

⑤ 石川十四夫議員（道政）から、審議の促進方及び理事者の答弁方針について意見、要望があり、委員長から承っておく旨発言の後、本会議は準備出来次第開会することを決定。

○ 3月10日（火） 開議 午前9時43分

散会 午後4時13分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、3月3日の桜井 外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、了承。
- ② 北方海域における韓国漁船操業問題に関する中央折衝のため、水産林務委員長ほか2名が本日上京しており、本日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。午前9時45分休憩、午後4時12分再開。
- ③ 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言の後、本日の本会議は日程を延期し延会することを決定。

○ 3月11日（水） 開議 午前9時41分

散会 午後4時41分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 総務部長から、3月3日の桜井 外治議員（自民）の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申し出があったことを発言。
- ② 委員長から、理事者に対し、相当日数も経過しているので、出来るだけ早期に再開出来るよう、なお一層努力願いたい旨を発言。
- ③ 農政委員長ほか3名が、酪農・畜産振興施策に関する中央折衝のため、本日の本会議を欠席する旨発言の後、了承。午前9時43分休憩、午後4時39分再開。

- ④ 総務部長から、桜井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長から準備が出来た旨申し出があったことを発言の後、本日の本会議は桜井議員の再々質問に対する教育長の答弁から入ることを決定。
- ⑤ 代表質問の通告内容等に変更がないことを確認。
- ⑥ 本日の本会議について、桜井議員の代表質問の継続を行い、延会することを決定。
- ⑦ 代表質問の残り3名については、明日12日行うことを決定。
- ⑧ 一般質問の進め方について、明日協議することを了承。

○ 3月12日（木） 開議 午前9時36分

散会 午後3時24分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 代表質問の通告内容等に変更がないことを確認。
- ② 本日の本会議について、代表質問3人行うことを了承。
- ③ 追加提出議案に関する知事の提案説明については、本日代表質問終了後、日程第1の議事を中止し、追加日程として提案説明を行うことを決定。
- ④ 一般質問の進め方について、本日、本会議休憩中、改めて協議することを了承。
- ⑤ 北方領土対策特別委員長ほか1名が、北方海域における韓国漁船操業問題に関する中央折衝のため、本日から明日まで上京することを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。午前9時38分休憩、午後3時18分再開。
- ⑦ 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ⑧ 一般質問の進め方について、3月18日まで行うこととし、3月13日7人、16日4人、17日7人、18日2人の予定で取り進めることを決定。

○ 3月13日（金） 開議 午前9時34分

散会 午前9時36分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問7人行うことを了承。
- ③ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月16日（月） 開議 午後零時37分

散会 午後零時38分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問4人行うことを了承。
- ③ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月17日（火） 開議 午前9時45分

散会 午前9時48分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 一般質問の通告内容等の変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問6人行うことを了承。
- ③ 総務部長から、議案第86号は先議を要請していたが、河川審議会が4月に延期されたためその必要がなくなったこと、また、向田副知事が畜産振興審議会に出席のため本日の本会議を欠席する旨発言の後、それぞれ了承。
- ④ 本日の本会議の議事順序について事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月18日（水） 開議 午前9時33分

散会 午後5時42分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 一般質問の通告内容等に変更がないことを確認。
- ② 本日の本会議について、一般質問2人行うことを了承。

- ③ 予算特別委員会について、各会派別分科委員数について、各会派間の調整の結果、配付の協議事項に記載のとおり決定したことを報告。
- ④ 委員の選任について、配付の名簿のとおり選任することを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおり付託することを決定。
- ⑥ 平成3年度補正予算案等の先議の方法について、本日、一般質問終了後、予算特別委員会を設置、各案件の委員会付託を行った後、本会議を一旦休憩し、先議案件が付託される委員会において、速やかに審査を願い、関係委員会の審査終了後、本会議を再開し、議決を行う予定で取り進めることを決定。
- ⑦ 予算特別委員会の審議日程について、当初日程上は3月23日までとなっているが、3月24日まで審議を行う予定で取り進めることを決定。常任、特別委員会について、3月25日に審議を行うことを了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。午前9時39分休憩、午後3時45分再開。
- ⑨ 本日の本会議について、会議時間を延長することを決定。午後3時46分休憩、午後5時40分再開。
- ⑩ 先議案件の各委員会の審議状況について、すべて議了した旨報告。
- ⑪ 休会の決定について、各委員会付託議案審査のため3月19日から3月24日まで休会し、3月25日再開することを決定。
- ⑫ 再開後の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めることを了承。

○ 3月25日（水） 開議 午前9時32分

散会 午後4時7分

議会運営委員会室

委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会において総括質疑の質問者2名を残している状況にあること、各常任委員会付託議案については、いずれも議了していない旨報告。午前9時34分休憩、午後4時再開。

- ② 各委員会付託議案の審議状況について、すべて議了した旨、報告。
- ③ 決算特別委員会付託案件について、前会より継続審査中の報告第1号「平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件」は、本日の委員会において、継続審査とすることに決定した旨、報告。
- ④ 委員長から、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会の審議状況について、調査中の「道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する問題の件」は、本日の委員会において、継続調査とすることに決定した旨、報告。
- ⑤ 石狩西部広域水道企業団議会議員の選挙について、選挙すべき数は2人であり、本件については、本日の本会議において選挙を行うこととし、選挙の方法は指名推選とし、指名の方法は議長において指名することを決定。なお各会派の配分は各会派会長会議において決定されており、配付のとおり関係会派の会長から議長に対し、それぞれ推選があった旨、報告。
- ⑥ 決議案第2号の提出があったので、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑦ 意見案第4号ないし第8号の提出があったので、本日の本会議において議決する扱いにすることを了承。
- ⑧ 閉会中継続調査申し出の件について、閉会中継続調査を申し出ることを決定。
- ⑨ 総務部長から、地方税法の改正に伴う道税条例の改正の専決処分について、現在、「地方税法の一部を改正する法律案」が国会で審議されており、改正法が成立、公布されると、その内容に従い道税条例についても所要の改正を行う必要があるので、同法の公布を待って、従来同様、専決処分したい旨発言の後、了承。
- ⑩ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおり取り進めること、会議時間を延長することを了承。

## 常任委員会

### 総務委員会

○1月9日(木) 開議 午後2時14分  
散会 午後2時30分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

#### 一般議事

- ① 平成4年度国の北海道関係予算に関する中央折衝の実施結果の報告を了承。
- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成4年度国の北海道関係予算について報告。

○2月4日(火) 開議 午後1時20分  
散会 午後1時22分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

#### 一般議事

- ① 行財政状況等に関する道外調査の実施概要報告を了承。
- ② 警察署留置所の視察の実施を決定。

○2月24日(月) 開議 午前11時41分  
散会 午前11時7分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 総務部長から、札幌医科大学衛生短期大学部の4年制移行について報告。

○3月18日(水) 開議 午後5時32分  
散会 午後5時37分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

#### 付託案件の審査

議案第96号

北海道土地開発基金条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

○3月25日(水) 開議 午後2時  
散会 午後2時29分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

#### 付託案件の審査

議案第19号  
北海道職員等の育児休業等に関する条例案  
(原案可決)

議案第20号  
北海道公債管理特別会計条例案(原案可決)  
議案第21号  
札幌医科大学付属病院使用料条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第22号  
北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)  
議案第23号  
北海道議會議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第25号  
議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第26号  
北海道税条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第75号  
闘犬、闘牛、闘鶏等取締条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)  
議案第76号  
北海道警察組織条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第78号  
金属くず回収業に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第79号  
公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第80号

北海道自動車保管場所証明等手数料条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ② 所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ③ 総務部長から、専決処分予定案件について報告。
- ④ 警察本部長から、道央自動車道における多重事故の概要及び警察活動について報告。  
久田恭弘委員(自民)から質疑

生活福祉委員会

○1月9日(木) 開議 午後2時10分  
散会 午後2時45分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

一般議事

- ① 平成4年度国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 生活福祉部長から、平成4年度国費予算に關し説明。  
大橋 晃委員(共産)から質疑、意見及び要望。

○2月4日(火) 開議 午後1時20分  
散会 午後1時32分  
第9委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 和田 敬友(自民)

一般議事

- ① 生活福祉事情に関する道外調査及び北靈碑慰霊祭参列の実施概要の報告を了承。
- ② 大橋 晃委員(共産)から質疑  
ホワイトドーム構想について

○2月24日(月) 開議 午前10時45分  
散会 午前11時28分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

一般議事

- ① 生活福祉部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 大橋 晃委員(共産)から質疑  
喉頭摘出者に対する福祉施策について

○3月25日(水) 開議 午後2時5分  
散会 午後2時30分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

付託案件の審査

議案第27号

北海道青少年保護育成条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第28号

北海道ウタリ子弟大学等修学資金等貸付条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

一般議事

- ① 保健・医療・福祉マンパワーの確保に関する意見案の発議を決定。
- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ③ 所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ④ 大橋 晃委員(共産)から質疑  
母子、寡婦等の福祉対策について

保健環境委員会

○1月9日(木) 開議 午後2時10分  
散会 午後2時41分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

一般議事

- ① 平成4年度国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 保健環境部長から、平成4年度国費予算に關し報告。
- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑  
精神障害者の社会復帰対策について

○2月4日(火) 開議 午後1時17分  
散会 午後1時46分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 一般議事

- (1) 北海道公害対策審議会委員に、加藤和久委員(自民)、小原葉子委員(社会)を推せん。  
北海道自然環境保全審議会委員に、中崎昭一委員(自民)、谷川英雅委員(社会)を推せん。
- (2) 保健環境部長から、アルファリゾート・トマム開発事業に係る環境影響評価に關し報告。
- (3) 萩原信宏委員(共産)から質疑  
がん予防対策について

○2月24日(月) 開議 午前10時19分  
散会 午前10時51分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 一般議事

- (1) 保健環境部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- (2) 萩原信宏委員(共産)から質疑  
ゴルフ場開発と環境問題について

○3月25日(水) 開議 午後1時50分  
散会 午後2時8分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 付託案件の審査

- 議案第29号  
北海道病院事業条例及び北海道立診療所条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第30号  
北海道保健所条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第31号  
北海道立衛生研究所条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第32号  
北海道立衛生学院条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第33号

- 北海道立看護学院条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第34号  
北海道立精神保健センター条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第35号  
食品の製造販売行商等衛生条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第36号  
かきの処理等に関する衛生条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第37号  
化製場等に関する法律施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第38号  
興行場法施行条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第39号  
北海道急性中毒患者届出条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第40号  
北海道公害防止条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第41号  
北海道浄化槽保守点検業者の登録に関する条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第42号  
北海道立開拓記念館条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第43号  
北海道自然環境等保全条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第44号  
北海道危険動物飼養規制条例の一部を改正する条例案 (原案可決)  
議案第45号  
北海道立開拓の村条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

#### 一般議事

- (1) 保健環境部長から、北海道産業廃棄物処理計画の策定について報告。
- (2) 保健環境部長から、国定公園及び道立自然公園内車馬等の乗入れ規制地域の指定について報告。

- ③ 保健・医療・福祉マンパワーの確保を求める件に関する意見案の発議を決定。
- ④ 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

## 商工労働観光委員会

○1月9日（木） 開議 午後1時13分  
散会 午後1時32分  
第8委員会室  
委員長 関根 建二（社会）

### 一般議事

- ① 冬季雇用援護制度の存続、産業業務機能再配置促進政策の導入、旭川頭脳立地構想の推進及び工業用水道事業補助の確保に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 商工労働観光部長から、平成4年度国費予算の概要及びアジア太平洋観光サミットに関する説明。

○2月4日（火） 開議 午後1時23分  
散会 午後1時31分  
第8委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 伊達 忠一（自民）

- ① 商工労働観光部長から、道立食品加工研究センターの概要について報告。
- ② 道立食品加工センターの開所式の出席を決定。

○2月24日（月） 開議 午前10時31分  
散会 午前10時56分  
第8委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 伊達 忠一（自民）

### 一般議事

- ① 商工労働観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工労働観光部長から、アジア・環太平洋国際観光サミットの実施結果概要及び北海道

職業能力開発計画の概要について説明。

○3月25日（水） 開議 午後2時5分  
散会 午後2時22分  
第8委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 伊達 忠一（自民）

### 付託案件の審査

議案第46号  
北海道大規模小売店舗審議会条例の一部を改正する条例案 （原案可決）  
議案第47号  
北海道企業立地促進条例の一部を改正する条例案 （原案可決）  
議案第48号  
北海道立工業試験場条例の一部を改正する条例案 （原案可決）  
議案第49号  
北海道立工業技術センター条例の一部を改正する条例案 （原案可決）  
議案第50号  
北海道立地下資源調査所条例の一部を改正する条例案 （原案可決）  
議案第81号  
北海道職業訓練指導員訓練受講料条例を廃止する条例案 （原案可決）

### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ③ パートタイム労働者の労働条件改善に関する意見案の発議を決定。
- ④ 商工労働観光部長から、テクノポリス函館開発計画変更承認申請に関して報告。

## 農政委員会

○1月9日（木） 開議 午後2時16分  
散会 午後2時58分  
第7委員会室  
委員長 大野 新生（自民）

## 一般議事

- ① 平成4年度北海道開発予算に関する中央折衝及び農畜産物の完全自由化につながる「包括的な関税化」の拒否に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成4年度農業関係国費予算主要事項について報告。
- ③ 明田辰義委員（自民）から質疑  
　平成4年度における転作等目標面積の軽減措置について（答弁保留）  
　土川弘副委員長（社会）から質疑、意見及び要望。  
　ガット・ウルグアイ・ラウンドに係るドンケル事務局長の合意案について  
　吉川靖晃委員（自民）及び石川十四夫委員（道政）から、本委員会の運営について発言。

○2月4日（火）開議 午後1時31分

散会 午後2時26分

第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

## 一般議事

- ① 農政部長から、1月9日の明田辰義委員（自民）の質疑に係る転作の軽減に伴う復田の取り組みについて報告。  
　石川十四夫委員（道政）から質疑、意見及び要望。
- ② 農政部長から、平成3年度農業試験研究の成果について報告。
- ③ 農政部長及び農業企画室長から、新政策の検討結果について報告。  
　湯佐利夫委員（自民）及び岡本栄太郎委員（社会）から要望。
- ④ 石川十四夫委員（道政）から質疑及び要望。  
　ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉について

○2月24日（月）開議 午前10時51分

散会 午前11時14分

第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

## 一般議事

- ① 農政部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ② 明田辰義委員（自民）から質疑  
　農協合併について（一部答弁保留）

○3月5日（木）開議 午後4時37分

散会 午後4時38分

第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

## 一般議事

- 酪農・畜産振興施策に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。

○3月25日（水）開議 午後2時3分

散会 午後2時36分

第7委員会室

委員長 大野 新生（自民）

## 付託案件の審査

議案第51号

国営土地改良事業負担金等徴収条例等の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第52号

北海道立農業試験場条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第53号

北海道改良普及員資格試験条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第54号

北海道種馬鈴しょ生産販売取締条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第55号

北海道農産物検査条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第56号

北海道家畜保健衛生所条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

議案第57号

北海道みつばち転飼条例の一部を改正する条例案 （原案可決）

## 一般議事

- ① 外国産馬の出走制限緩和に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを

決定。

- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。
- ④ 湯佐利夫委員（自民）から質疑及び意見。  
農業農村整備事業の推進について

## 建設委員会

- 1月9日（木） 開議 午後1時39分  
散会 午後1時51分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

### 一般議事

- ① 平成4年度北海道関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、平成4年度北海道関係国費予算に関し説明。

- 2月4日（火） 開議 午後1時52分  
散会 午後1時58分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

### 一般議事

- ① 建設事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、地方特定道路整備事業並びに地方特定河川等環境整備事業の概要について説明。

- 2月24日（月） 開議 午前10時41分  
散会 午前11時1分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

### 一般議事

- ① 新千歳空港調査実施概要の報告を了承。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、第1回定期会提出予定案件について説明。
- ③ 北海道住宅供給公社運営委員会委員に、森敏捷副委員長（社会）及び佐々木利昭委員（自民）を推せん。

- 3月18日（水） 開議 午後5時28分  
散会 午後5時31分

第4委員会室

委員長 勝木 省三（自民）

### 付託案件の審査

議案第98号

都市公園事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件  
(原案可決)

- 3月25日（水） 開議 午後1時53分  
散会 午後2時5分

第4委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

### 付託案件の審査

議案第58号

北海道普通河川及び堤防敷地条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第59号

北海道沿岸水域の工事取締条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第60号

北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第61号

風致地区内建築等規制条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第62号

北海道立都市公園条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第63号

北海道立寒地住宅都市研究所条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第64号

北海道建築基準法施行条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第82号

北海道渡船場取締条例を廃止する条例案  
(原案可決)

議案第86号

河川法に基づく一級河川の指定等についての意見に関する件  
(原案可決)

議案第87号

石狩湾新港管理組合規約の一部改正に関する件  
(原案可決)

### 一般議事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるもの

を含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。

- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

## 水産林務委員会

○ 1月9日(木) 開議 午後2時17分  
散会 午後2時37分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- ① 平成4年度水産林務関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。  
② 水産部長及び林務部長から、平成4年度水産林務関係国費予算について報告。  
③ 水産部長から、日ソ地先沖合漁業交渉に関する結果について報告。  
④ 水産部長から、韓国漁船問題について報告。

○ 2月4日(火) 開議 午後1時25分  
散会 午後1時26分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- 水産林務事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

○ 2月24日(月) 開議 午前10時26分  
散会 午前10時54分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。  
② 水産部長から、韓国漁船操業問題について報告。  
③ 林務部長から、道有林基本計画について説明。

○ 3月5日(木) 開議 午後4時37分  
散会 午後4時38分

第2委員会室

委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- 北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。

○ 3月18日(水) 開議 午後5時28分  
散会 午後5時32分

第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 付託案件の審査

議案第97号

北海道水産加工経営改善強化資金金融通込成事業基金条例を廃止する条例案 (原案可決)

○ 3月25日(水) 開議 午後1時56分  
散会 午後2時5分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 付託案件の審査

議案第65号

北海道立水産試験場条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第66号

北海道立水産孵化場条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第67号

北海道水産物検査条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第68号

北海道立林業試験場条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第69号

北海道立林産試験場条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第70号

北海道木材業者製材業者合板及び单板業者登録条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

### 一般議事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申し出をすることを決定。  
② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

- ③ 水産部長から、日口さけ・ます漁業交渉に関する結果について報告。

- ② 平出陽子委員（社会）から質疑  
障害のある児童生徒の就学指導、施設整備について

## 文教委員会

○ 1月9日（木） 開議 午後2時15分  
散会 午後2時35分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀（自民）

### 請願・陳情の審査

請願第20号

義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持に関する件（議決不要）

請願第21号

苫小牧東高校・苫小牧南高校・苫小牧工業高校・白老東高校からの各一学級削減に反対する件（議決不要）

請願第31号

滝川高等学校学級数の現状の維持を求める件（議決不要）

陳情第5号

義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員の国庫負担制度堅持に関する件（議決不要）

陳情第10号

小樽工業高校の学級削減案の白紙撤回を求める件（議決不要）

### 一般議事

- ① 義務教育費国庫負担法一部適用除外に関する要望意見書及び高等学校の学級編制基準の改善を求める要望意見書並びに平成4年度北海道関係国費予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。  
② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、平成4年度北海道関係国費予算の概要に関し説明。

○ 2月4日（火） 開議 午後1時25分  
散会 午後1時50分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀（自民）

### 一般議事

- ① 札幌市内の文教施設等の調査の実施を決定。

○ 2月24日（月） 開議 午前10時37分  
散会 午前11時10分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀（自民）

### 一般議事

- 教育長、企画管理部長及び学事課長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

○ 3月25日（水） 開議 午後2時2分  
散会 午後2時7分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀（自民）

### 付託案件の審査

議案第71号

北海道立教職員検診センター条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第72号

北海道立学校条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第73号

北海道公立高等学校生徒学資金貸付条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第74号

北海道文化財保護条例の一部を改正する条例案（原案可決）

### 一般議事

- ① 請願・陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申し出をすることを決定。  
② 所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

## 特別委員会

### 総合開発調査特別委員会

○ 1月10日（金） 開議 午前10時48分

散会 午後零時7分

第1委員会室

委員長 久田 恭弘（自民）

- ① 企画振興部長から、平成4年度の国の北海道関係予算内示概要について説明。

永井利幸委員（自民）、吉川貴盛委員（自民）、大橋 晃委員（共産）及び委員長から質疑及び要望。

- ② 企画振興部長から、道央地区新産業都市建設基本計画について報告。

- ③ 参事監から、北海道海域別開発基本構想について説明。

大橋 晃委員（共産）から質疑

- ④ 大橋 晃委員（共産）から質疑

北海道新長期総合計画第4次推進計画について

○ 2月5日（水） 開議 午前10時22分

散会 午前10時37分

第1委員会室

委員長 久田 恭弘（自民）

- ① 道外調査の実施を決定。

- ② 大橋 晃委員（共産）から質疑

（1）高規格道路の現状について

（2）株式会社共和の国土法違反について

○ 2月24日（月） 開議 午後零時14分

散会 午後零時22分

第1委員会室

委員長 久田 恭弘（自民）

- ① 企画振興部長及び参事監から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ② 地域開発事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。

### 石炭対策特別委員会

○ 1月10日（金） 開議 午前10時47分

散会 午前11時3分

第5委員会室

委員長 谷川 英雅（社会）

- （1）平成4年度石炭関係国費予算要求に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。

- （2）商工労働観光部長から、平成4年度国費予算の概要について説明。

石川十四夫委員（道政）から、質疑及び要望。

○ 2月24日（月） 開議 午後零時33分

散会 午後零時59分

第5委員会室

委員長 谷川 英雅（社会）

- ① 商工労働観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ② 石川十四夫委員（道政）から質疑及び要望。

（1）北炭真谷地電力所等の従業員の解雇について

（2）黒手帳又は緑の手帳の交付について

関連して、岩崎 守男委員（社会）から質疑

### 北方領土対策特別委員会

○ 1月10日（金） 開議 午前10時37分

散会 午前10時43分

第3委員会室

委員長 水岡 薫（自民）

- ① 領対本部長から、平成4年度国の北海道関係予算について説明。

- ② 領対本部長から、総務庁長官の北方領土視察について報告及び委員の派遣について要請。

本委員会から、委員長、小池 昌委員（社会）及び山崎正隆委員（自民）を派遣することに決定。

○2月5日(水) 開議 午前10時49分  
散会 午前11時45分  
第3委員会室  
委員長 水岡 薫(自民)  
① 領対本部長から、「北方領土の日」特別啓発事業について説明。  
② 領対本部長から、北方四島との交流などに関するサハリン州との協議について説明。  
山口眞人委員(自民)及び伊藤武一委員(公明)から質疑

○2月24日(月) 開議 午後零時15分  
散会 午後零時56分  
第3委員会室  
委員長 水岡 薫(自民)  
① 領対本部長から、北方四島との交流に関する報告。  
神戸典臣委員(自民)及び山口眞人委員(自民)から質疑。  
② 領対本部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。  
③ 領対本部長から、北海道・サハリン州代表団間の協議の概要に関する報告。

○3月5日(木) 開議 午後4時40分  
散会 午後4時42分  
第3委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 深田義勝(社会)  
① 北方海域における韓国漁船操業問題に関する意見案の発議を決定。  
② 北方海域における韓国漁船操業問題に関する中央折衝の実施を決定。

○3月25日(水) 開議 午後2時47分  
散会 午後2時51分  
第3委員会室  
委員長 水岡 薫(自民)  
① 北方海域における韓国漁船操業問題に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。  
② 領対本部長から、北方領土返還要求中央要請並びに国会請願の実施について説明。  
本委員会からの委員派遣を決定。

## エネルギー問題調査特別委員会

○2月5日(水) 開議 午前10時17分  
散会 午前10時34分  
第5委員会室  
委員長 中川義雄(自民)  
① 道外調査の実施概要の報告を了承。  
② 商工労働観光部長から、平成4年度国費予算の概要について説明。  
渋谷澄夫委員(社会)から、質疑及び意見。  
③ 商工労働観光部長から、サハリン石油・天然ガスをめぐる最近の動向について報告。  
委員長から資料の提出方について要望。

○2月24日(月) 開議 午後零時9分  
散会 午後零時23分  
第5委員会室  
委員長 中川義雄(自民)  
① 商工労働観光部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。  
② 商工労働観光部長から、サハリン石油・天然ガス開発に関する経過を説明。

## 交通安全対策特別委員会

○1月10日(金) 開議 午前11時15分  
散会 午前11時25分  
第2委員会室  
委員長 大島一郎(社会)  
① 生活福祉部長から、平成4年の交通安全運動の推進に関する説明。  
② 警察本部交通部長から、平成3年の交通事故概況及び平成4年の交通事故抑止対策に関する説明。

○2月24日(月) 開議 午後零時8分  
散会 午後零時38分  
第2委員会室  
委員長 大島一郎(社会)  
① 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。

- ② 生活福祉部長から、平成4年の交通安全運動の実施計画について説明。
- ③ 警察本部交通部長及び土木部長から、第5次交通安全施設等整備事業5箇年計画について説明。
- ④ 伊藤政信委員（社会）から質疑
  - (1) 交通安全の広報活動について
  - (2) 高齢者の交通事故防止について
  - (3) 学校における交通安全教育について

全国組織の過疎地域振興対策協議会への  
知事の出席について

- 2月24日（月） 開議 午後1時17分  
 散会 午後1時21分  
 第1委員会室  
 委員長 工藤 万砂美（自民）  
 ○ 企画振興部長から、第1回定例会提出予定  
 案件について説明。

- 3月25日（水） 開議 午後2時45分  
 散会 午後2時59分  
 第2委員会室  
 委員長 大島 一郎（社会）  
 ○ 警察本部交通部長から、道央自動車道における多重事故の概要及び警察活動について報告。

### 過疎地域振興対策特別委員会

- 1月10日（金） 開議 午前10時26分  
 散会 午前10時35分  
 第1委員会室  
 委員長 工藤 万砂美（自民）  
 ○ 地域振興室長から、北海道新山村振興対策基本方針策定について報告。

- 2月5日（水） 開議 午前11時3分  
 散会 午前11時53分  
 第1委員会室  
 委員長 工藤 万砂美（自民）  
 ① 地域振興室長から、平成3年度辺地及び過疎対策事業債の充当状況について報告。  
 ② 湯佐利夫委員（自民）から、平成4年度辺地・過疎地域に関する事業について資料の提出を要求。  
 酒井芳秀委員（自民）から質疑  
 平成4年度予算における国及び道の過疎地域振興対策について  
 土田弘委員（社会）から質疑、意見及び要望。  
 北海道新山村振興対策基本方針について  
 委員長（自民）から要望。

## 予算特別委員会

○3月18日(水) 開議 午後零時57分  
散会 午後5時23分  
第1委員会室  
委員長 高橋 康之(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋康之委員(自民)、副委員長に小山誠司委員(社会)を選出。
- ② 付託案件に対する審査方法について、3分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員17人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員17人、所管は保健環境部、土木部、住宅都市部、企業局及び教育委員会、第3分科会は委員17人、所管は、商工労働観光部、農政部、水産部及び林務部とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。
- ③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

### ○第1分科会委員(17人)

岡本 修(社会)	板谷 実(民政)
上田 茂(自民)	山崎 正隆(自民)
神戸 典臣(自民)	桜田 正明(自民)
三津 夫夫(社会)	鰐谷 忠(社会)
小池 昌(社会)	小野寺 勇(自民)
伊藤 武一(公明)	大島 一郎(社会)
輪島 幸雄(社会)	舟山 広治(社会)
久田 恭弘(自民)	高木 繁光(自民)
吉田 政一(自民)	

### ○第2分科会委員(17人)

伊藤 政信(社会)	明田 辰義(自民)
川尻 秀之(自民)	乙川 節郎(公明)
井野 厚(社会)	大橋 晃(共産)
上田 弘(社会)	野呂 善市(自民)
和田 敬友(自民)	酒井 芳秀(自民)
吉川 貴盛(自民)	西本 美嗣(社会)
谷川 英雅(社会)	岡本栄太郎(社会)

笠島 保(社会) 橋 浪藏(自民)

佐々木利昭(自民)

### ○第3分科会委員(17人)

木村 澄男(道政)	釣部 熱(自民)
山口幸太郎(自民)	吉田 栄(社会)
岩井 正明(社会)	小山 誠司(社会)
長沢 徹(社会)	吉田 恵悦(公明)
高橋 一史(自民)	永井 利幸(自民)
大野 新生(自民)	勝木 省三(自民)
青山 章(自民)	水野 重男(民政)
大内 良一(社会)	吉野 之雄(社会)
中崎 昭一(自民)	
④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。	
⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。	
⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること、先議案件は一括して質疑を行うことを決定。	
⑦ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。	
⑧ 本委員会の運営にあたり、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことを決定。	
⑨ 議案第88号ないし第95号(先議案件)を一括議題とし、質疑に入り、 石井 孝一委員(自民)から、 (1) 財政運営等に關し、多額の基金積み戻し、積み増しが可能となった要因、厳しい財政状況の認識、道税収入の歳入総額に占める割合及び全国平均との比較、平成3年度末の基金残高、適正な規模の考え方、他府県との比較、3基金に割振りした考え方、今後の新たな財政需要への対処方法 (2) 道税収入に関し、予期しなかった日銀分を除く税収の伸び率、税収の動向、法人2税の見通し、道外法人の占める割合、景気対策の取組、安定的財政運営の取組の決意	

- (3) 土地開発基金に関し、増額補正の理由、基金による取得実績、長期的施設整備計画の必要性、基金活用による計画的公用地確保の取組
- (4) 中小商業活性化基金に関し、運用状況と要望から採択までの手順、対象事業と運用益の見込み
- (5) 北方型住宅に関し、建設促進特別対策資金貸付金融資本数の見通し、貸付金利用率が低い理由等について

**大橋 晃委員（共産）から、**

- (1) 水産問題に関し、国際漁業再編対策事業費補助金補正予算の内容、昭和61年以降の許可隻数と減船隻数、国際漁業の規制強化に伴う具体的対策、水産庁が2月に函館市で行った実態調査の内容、公海流し網漁業存続運動の進め方、流し網漁業禁止に伴う函館地方の下請け製網業者への対策、漁法開発等自治体独自の対策への援助
- (2) 造林補助金等に関し、補助金返還収入の内容、国庫返納金にゴルフ場関連の有無、㈱コペルのオーロラリゾート＆ゴルフクラブの森林法による開発許可の状況、ゴルフ場開発に当たっての造林地除外の指導の考え方
- (3) 北方型住宅の建設促進に関し、建設促進特別対策資金貸付金利用者の平均年収、年収800万円世帯の割合、想定する取得額の年収に対する倍率、中間的基準設定の検討
- (4) 私学対策に関し、私学振興費減額補正の理由、奨学金適用基準緩和等改善策、納付金改定状況、一部私立高校における入学一時金先取りの実態把握状況及び指導
- (5) 国営直轄負担金に関し、負担率カットに伴う道の負担増の額、奥尻町の肉牛農家の経営状況、企画振興部の調査報告書で指摘された問題の解決状況、地元関係者の声が十分反映されるような指導の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、企画振興部長、商工労働観光部長、住宅都市部長、水産部長、農政部長、林務部長、財政課長、税務課長及び管財課長から答弁があつて、質疑を終結。

- ⑩ 付託案件に対する意見の調整は、各会派代表者会議において行うことと決定。

⑪ 各会派 代表者 会議における意見調整の結果、議案第88号及び第94号について意見の一一致を見るに至らなかった旨報告の後、これを問題とし、大橋晃委員（共産）から反対討論の後、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決することを決定。

- ⑫ 議案第89号ないし第93号及び第95号を一括問題とし、原案のとおり可決することを決定。
- ⑬ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することを決定。
- ⑭ 委員長から、付託案件の審査終了に当たりあいさつがあつて閉会。

## 第1分科会

○3月18日（水） 開議 午後零時38分  
散会 午後零時48分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
神戸 典臣（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に神戸典臣委員（自民）、分科副委員長に鰐谷 忠委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、桜田正明委員（自民）、小池 昌委員（社会）、伊藤武一委員（公明）、板谷 実委員（民政）を選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会にはかりり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとするることを決定。

○3月19日（木） 開議 午前10時21分  
散会 午後5時10分  
第1委員会室  
第1分科委員長

神戸 典臣（自民）

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

高木 繁光委員（自民）から、

交通行政に関し、3月17日道央自動車道において発生した多重事故の概要、多重事故に対する普段からの対応、想定訓練の実施の有無、過去5年間の多重事故件数とその実態、多重事故の具体的対応、事故後の処理状況、事故の一報を受けた経過、パトカーの到着時間と台数、連絡体制の実態、救急医療部への連絡の状況、道民の生命・財産を守ることへの認識、自衛隊への出動要請、当日の天候状況、現場の路面状況、運転免許制度の考え方、雪道教習の実施の実態、研究機関の設置の見解等について

伊藤 政信委員（社会）から、

スパイクタイヤ使用禁止除外自動車対策に関し、除外されているその他緊急自動車の種別、スパイクタイヤ使用禁止除外されている警察車両の保有台数、スパイクタイヤの確保の見通し、脱スパイクタイヤ化に対する対応、脱スパイクタイヤ対策の所見等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、総務部長、交通部長、交通企画課長、交通部参事官及び警ら部参事官から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

② 企画振興部所管に対する質疑に入り、

上田 茂委員（自民）から、

テクノ・スーパー・ライナーに関し、現状認識と基本的な考え方、実用化の見通し、調査項目及び期間、北海道経済連合会との連携の現状、航路開設を希望する他府県の状況と道内自治体の状況、新組織結成の具体化する時期、誘致に必要な港湾機能整備の考え方等について

中川 義雄委員（自民）から、

(1) 財團法人食の祭典委員会に関し、事業目的と最近の事業内容、債務処理が事業目的となる考え方、財團の執行体制、派遣職員の業務内容と費用負担、平成3年度の資産と負債の状況、平成3年度の収支見込み、前期繰越収支差額の35億3千8百万円の内容、負担金収入のうち4億数千万円の内容、

派遣職員の人事費、派遣職員の給料の負担者、財團の収入、一括返済して解散する事実、法律上の解散の見解、財團のあり方の見解、破産の状況の認識、一括返還をしないことの方針、派遣職員の削減の考え方

(2) 出生率の低下の現状と対応策に関し、出生率の推移、出生率が低下している要因、産業に与える影響、道民生活に与える影響、道民福祉に与える影響、地方財政に与える影響、出生率の低下に歯止めをかける施策の考え方

(3) 過疎と過密の進行状況と対応策に関し、過疎過密を進行させる認識、過疎過密の実態、過疎化の進行が与える影響、過疎過密の防止の施策の考え方、地方制度の見直しの必要性の見解、地方交付税制度の見直しの考え方等について

質疑、意見及び要望があり、企画振興部長から答弁、

○3月23日（月） 開議 午前10時34分

散会 午後4時13分

第1委員会室

第1分科委員長

神戸 典臣（自民）

○企画振興部所管に対する質疑の続行、

山口 幸太郎委員（自民）から、

新千歳空港の24時間開港問題に関し、運輸省に対する働きかけ、運輸省の対応状況、運輸省への今後の対応、防衛施設庁への対応、経済界への働きかけ、経済界の反応、テストフライトの実施方法、住民側の要望、要望等の対処方、テストフライトの実施結果の取り扱い、住民合意が前提となる実施の考え方、対策財源の確保の取り組み、地域協議会を存続させる考え、前提条件を上回る事態が生じた際の対処、千歳側の地域協議会に参加していない町内会の取り扱い、苫小牧市の地域協議会への対応、空港周辺開発構想と24時間運用との関連、地元対策の考え方、見切り発車をしないことの見解、知事と地域住民との話し合いの姿勢等について

風早 俊男委員（民政）から、

(1) 人口問題に関し、北海道人口問題研究会

の研究が平成4年度予算案の反映、今後の研究の取り組みと研究成果の平成5年度予算案への反映、人口減の原因の見解、人口の流入入の状況、道内の過疎化と道央圏への人口集中の受け止め方、6圏域の中核都市の交通機能の充実の見解、地域の崩壊に対する見解と対応策、各自治体の人口流出対策の受け止め方、Uターン対策の考え方

(2) 一村一品運動の内容の充実する必要の見解

(3) 高齢化社会に関し、高齢者比率の高い自治体、高齢者比率の高い市町村の実情把握の必要性

(4) 過疎問題の取り組みに当たっての決意等について

質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、参事監、企画振興部次長兼企画室長及び企画室参事から答弁があつて、選挙管理委員会、生活福祉部、人事委員会、出納局及び監査委員所管に対する質疑を終結。

○3月24日（火）開議 午後1時33分  
閉会 午後2時28分  
第1委員会室  
第1分科委員長  
神戸 典臣（自民）

① 総務部所管に対する質疑に入り、

綿貫 健輔委員（自民）から、

コム博に関し、主催者の一員として参加している理由、中心的な主催者と受け取られる記載の見解、イベントの運営に責任を負う考え、当初の企画段階での関わり、実行委員会事務局への職員派遣の実態、事業終了後の対応、各種行事への対応、対応を決定する際の基準、コム博だけ主催者になった理由、共催を決定した経緯、共催者としての要件を満たしていない見解、共催者としての役割の取り決め、運営面での協力の内容、共催者としての責任の考え方、一定の責任についての見解、入場予定人員及び前売り入場券販売枚数、前売券の引き受けの事実、前売券の売捌きの考え方、三者間の協議の有無、文書での入場券の協力依頼をした見解、販売計画の内容、職員・市町村等への格別な割り当ての考え方、割り当てととられる要請文書に対する見解、入

場券を捌くために生じると予想される問題への対応、強制にわたらぬよう指導する見解、議会に事前相談がなかった措置の見解等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び情報管理課長から答弁があつて、総務部所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

## 第2分科会

○3月18日（水）開議 午後1時39分

散会 午後2時49分

第2委員会室

第2分科委員長

井野 厚（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に井野厚委員（社会）、分科副委員長に和田敬友委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、各1名計3名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、野呂善市委員（自民）、西本美嗣委員（社会）、乙川節郎委員（公明）を選出。なお、共産党については、オブザーバーの扱いとすることを決定。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○3月19日（木）開議 午前11時41分

散会 午後5時22分

第2委員会室

委員長 井野 厚（社会）

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

乙川 節郎委員（公明）から、

- (1) 道営住宅に関し、管理戸数及び空き家の状況、市町村営及び道営住宅の建設状況、

- 狹隘・老朽住宅の整備状況及び今後の整備方針、スペース拡大及び質的充実の取組、建替・住戸改善による質的向上の状況、空き家解消の取組、都市部における空き家の原因、各市の都市計画と道の建設計画の齟齬の有無、今後の空き家解消方針
- (2) 道営住宅の家賃改定等に関し、改定の理由、算定方法及び上げ幅、最高家賃での負担増の対策、入居者の理解の必要性、家賃改定と住宅の質的改善の関係、住環境及び居住環境向上への取組等について

**大橋 晃委員（共産）から、**

- (1) 道営住宅の家賃値上げに関し、割り増し賃料対象世帯とその割合、月額8万円の家賃について公営住宅法の精神からの考え方、生活保護世帯に対する軽減措置及び救済措置
- (2) 道営住宅の維持管理等に関し、修繕にあたっての入居者の意向反映方法及び申し込み方法、修繕及び環境整備の内容と実績、必要な修繕及び環境整備の今後の対応、空き家解消の具体策、住戸改善の条件が整った棟の数及び実施計画
- (3) 駐車場問題に関し、駐車場法改正の目的と内容、自動車の保管場所の確保に関する法律改正の内容、法改正に伴う公営住宅の駐車場についての国の指導方針、道営住宅における駐車場の整備状況、民間駐車場借り上げによる負担に対する支援の考え方、道営住宅における自動車保管場所としての使用承諾の状況、自動車保管場所使用承諾に関する道の要領改正の考え方、今後の駐車場整備方針等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長、住宅課長及び都市計画課長から答弁があつて、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 企業局所管に関する質疑に入り、

**萩原 信宏委員（共産）から、**

- 工業用水事業の全体の収支及び平成2年度の収支、平成3年度の決算見込みと累積黒字の状況、利潤の地元還元または道民への還元方法、工業用水道料金の値上げについての考え方、契約水量の現状、苦小牧地区第1、第2工業用水道が売れない原因、最近の企業の

進出状況及び契約水量の減量要請の具体的な内容、工業用水道事業における責任水量制の原則及び新日本製鉄と日本軽金属からの減量要請の対応策、沙流郡平取町に建設中の、二風谷及び平取ダムの建設目的並びに進捗状況と完成予定、事業計画全体事業費及び今後の増額の予想並びに道の負担額、日量7万8千トンの工業用水と供給先の見通し、平取ダムの着工取下げ願い等について

質疑、要望及び意見があり、企業局長から答弁があつて、企業局所管に対する質疑を終結。

- ③ 保健環境部所管に対する質疑に入り、

**明田 辰義委員（自民）から、**

看護婦問題に関し、看護婦の配置等の基準に対する見解、国の看護職員需給見通しの内容、本道の実態、看護婦不足が患者と病院に及ぼす影響に対する見解、看護婦不足に対するこれまでの確保対策とその成果、看護婦の定年と平均年齢、看護婦の就業数と潜在看護婦の状況、潜在看護婦の生活実態と職場復帰の状況、看護学校の現状、今後の入学定員と卒業見込の状況、看護婦の需給の見通しに対する見解、看護学校開設についての問題点と現在の状況、看護婦の待遇改善等について

**野呂 善市委員（自民）から、**

- (1) 水産加工品の安全性の確保に関し、道の条例により許可を得て水産加工品を製造する施設数、道外で発見された違反件数と内容、指導や業界の自主管理の状況、条例の規制の内容、他府県の規制の内容、道外産の水産加工品の規制に対する見解、法改正に対する国への要請

- (2) 食鳥肉の安全性の確保に関し、法律による検査方法、大規模検査対象施設の状況、検査制度に対する見解、検査体制に対する所見、獣医師の確保に対する状況、非常勤職員の検査員の確保に対する所見、衛生管理者の確保に対する見解、業界との連携、小規模処理場に対する指導等について

質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、地域医療課長及び食品衛生課長から答弁。

○3月23日（月）開議 午前10時25分  
散会 午後5時30分

第2委員会室  
委員長事故のため  
第2分科副委員長  
和田 敬友（自民）

① 保健環境部所管に対する質疑の続行、

**山口 真人委員（自民）** から、

北海道脱スパイクタイヤ推進条例に関し、法律と条例の違いの周知方法、脱スパイクタイヤ対策の推進に対する所見、指定地域の拡大や道路環境の整備に対する所見、脱スパイクタイヤ対策の取り組みに対する状況、罰則の適用に対する見解、道路環境整備と指定地域の整合性、大型車の猶予に対する所見、着脱場の設置状況等について

**清水 誠一委員（自民）** から、

- (1) 北海道地域保健医療計画の見直しに関し、市町村保健センターの設置目的と意義、今後の整備に対する所見、整備の促進に対する基本的な考え方、整備費の財源と道の助成、老人保健施設の整備の目的と意義、整備の状況と今後の見通しに対する所見、整備費の財源と道の助成に対する所見、理学療法士等の就業状況、道内の設置状況、理学療法士等の充足状況等に対する見解、今後の需給見通しに対する見解、道独自の支援に対する見解
- (2) 医薬分業に関し、医薬分業に対する認識、今後の取り組みに対する所見、今までの取り組み状況、モデル地区事業の経過と状況、道民意識調査の結果、札幌医大並びに道立病院の医薬分業の現状、道立病院での今後の進め方等について

**大橋 見委員（共産）** から、

- (1) クマ牧場をめぐる問題に関し、ヒグマの保護管理に対する見解、飼育のあり方に対する見解、死体の処分に対する自然保護法上の問題、園地事業に伴う管理行為に対する見解、クマの殺処分に対する見解、動物の愛護に関する条例に対する所見、飼育頭数の道への報告、現地調査の状況、クマ肉を食用とすることに対する問題点、展示用のクマを食用とすることに対する所見、クマの胆のうを販売することに対する問題点、クマの胆のうを原料とした医薬品の実

態、今後の対応

- (2) 幌延町で計画している廃棄物施設に探し、計画に対する道の見解、廃棄物の持ち込みに対する見解、この種の施設に対する指導方法、現地法人設立に関する指導、地元町村間の合意に対する所見
- (3) 食品の安全の問題に関し、ドンケルベーハーハーの食品安全基準に対する見解、国の残留農薬基準に対する見解、北海道消費者協会の要望に対する所見、残留農薬の危険性に対する認識と対応、検疫体制の状況、検疫体制の拡充強化に対する見解、衛生研究所で行った輸入食品の検査結果、平成3年度の検査の状況、食品の安全確保体制に対する所見等について

質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、道立病院管理室長、地域医療課長及び薬務課長から答弁があつて保健環境部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

**明田 辰義委員（自民）** から、

- (1) 土木工事の発注に関し、北海道における公共事業量と波及効果、北海道の経済を支えていることの認識、土現別地元業者受注割合、発注方法、指名願い更新年数、本州及び外国業者の受注割合、廃棄物処理方法と指導方法、地元中小業者の受注機会の確保
- (2) 人手不足と高齢化に関し、建設業における人手不足と高齢化についての認識と取組等について

**川尻 秀之委員（自民）** から、

公共事業の執行に関し、展望と基本的考え方、中小建設業者育成対策、4月・5月の発注率と今年度の目標、建設業における人手不足についての認識と対策、繁忙期における労働者不足に対する所見、工期選択の検討内容と実施時期、議会の議決に付すべき契約の額改正の受け止め及び効果、土現における技術職員数の現状認識、省力化対策、新たな視点に立った対策等について

**高橋 定敏委員（自民）** から、

海岸保全施設整備事業に関し、取組、面的防護施設の内容、海岸環境整備事業の取組と進捗状況、海岸環境整備事業と道単独事業の相違、湧別海岸における事業の進捗状況と単独事業の取組、事業取組に当たっての認識、

C・C・Zの内容と取組、留萌海岸におけるC・C・Z整備計画の進捗状況、後背地整備計画と全体計画完了予定期、道の支援措置の考え方等について

久田 恒弘委員（自民）から、

- (1) 港湾問題に関し、港湾貨物実態調査の結果、厚真の動物検疫所設置による港湾取扱い貨物への影響、港湾貨物の積り荷の状況、港勢伸長のための必要事項、厚真の動物検疫所設置による石狩湾新港のC I Q体制の指定要望への影響
- (2) 河川の整備に関し、川の緑の進め方、河畔林整備事業の内容及び実施箇所、小樽市於吉発川整備の意向及び道の受け止め
- (3) 道道の整備に関し、道道小樽環状線の整備計画及び昨年の都市計画変更の理由、国道393号の整備の国への要望、小樽築港駅ヤード再開発に伴う道路網を道道で整備する考え、中央通りを道道で整備する考えに等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長、管理課長、砂防災害課長、空港港湾課長、河川課長及び道路課長から答弁。

○3月24日（火）開議 午前10時5分  
閉会 午後7時29分  
第2委員会室  
第2分科委員長  
井野 厚（社会）

① 土木部所管に対する質疑の続行、

乙川 節郎委員（公明）から、

- (1) 公共用地の取得に関し、基本的考え方とこれまでの取組、事業別公共用地取得状況、中長期的視点に立った取組、事業費に占める用地費の割合、用地交渉難航箇所、未利用地の有無、都市部における公共用地の取得の考え方、周辺の民有地の地価高騰を招かないような配慮、代替地要求への対策
- (2) 建設工事に係る工事費等に関し、積算内容、建設省の積算に係る指導通達の内容、工事原価と一般管理費の内容、単価の決定方法、単価見直しの有無
- (3) 冬期増高経費措置事業に関し、その必要性、平成2年度の実績、雇用効果、平成4年度の取組、冬期工事の問題点等について

萩原 信宏委員（共産）から、

- (1) 河川及び砂防行政に関し、水辺の持つ生態系の意味の認識、昨年の河川審議会答申の中の「さらに豊かな水系づくり」の内容、環境に配慮した河川改修の実施状況、多自然型の川づくりの進め方、河川敷地保留の考え方、魚道設置の計画的推進及び新年度の設置計画、苫小牧市幌内川の復元に対する考え方、モデル事業推進の考え方、多自然型・近自然工法によるモデル的川づくり推進の考え方、多自然型海岸づくりの推進方法
  - (2) 建設労働問題に関し、建設業の労働時間の現状認識、時短の経過、1,800時間労働の重要性の認識、業界指導の取組、季節的建設労働者の有給休暇のその後の経過及び現状、有給休暇制度の導入・拡大の指導、産業廃棄物のうち建設関係の割合、分別・解体処理促進上の問題、道のモデル事業展開の考え方、コンクリート廃材の活用方法、先進県の実態、リサイクル法に基づく再生資源活用方法、検討委員会設置の考え方
  - (3) 道道士幌然別潮線に関し、平成4年度の事業計画、山火事対策の必要性、連絡道路としての必要性、総理府の世論調査結果の内容、東大雪の自然の重要性、計画変更の考え方、自然保護協会の合意得るまで着工中止の考え方、工事断念の考え方
  - (4) 交通安全対策に関し、道央道深川旭川線での危険箇所の改善、国に対する改善要望、事故の多い交差点の実態、危険交差点解消の促進、交通安全への取組の決意等について質疑、意見及び要望があり、土木部長、砂防災害課長、管理課長及び道路課長から答弁があつて、土木部及び取用委員会所管に対する質疑を終結。
- ② 教育委員会所管に対する質疑に入り、
- 山口 真人委員（自民）から、
- (1) 主任制問題に関し、地教委・校長会の理解を得るに至るまでの経過、大筋の理解の意味、今後の解決方法
  - (2) 小樽市の通知表「あゆみ」に関し、通信欄を設けている学校の実態、備考欄を設けている学校の実態、通信欄と備考欄の違い、通信欄・備考欄に記入しないことに対する

### 考え方、改善の有無、指導の考え方

- (3) 小樽市の中学校における国旗持ち去り問題に関し、小樽市における新学習指導要領移行措置の取組、学習指導要領における国旗・国歌の取扱い、入学式等での国歌・国旗の意義、入学式・卒業式などの内容、国旗・国歌についての学校に対する指導方法、今回の問題の事実関係の把握状況、事件と北教組小樽支部の年次大会における方針との関係、この問題の認識、小樽市教委の調査内容、対象となる処分
- (4) 訪問教育に関し、対象となる児童生徒の障害の状況、指導内容・回数・成果、集団学習が適切な場合の考え方、週2回2時間ずつで十分かどうか、集団学習への配慮等について

**永井 利幸委員（自民）**から、

小樽市の中学校における国旗持ち去り問題に関し、持ち去った者の存在、自主申告の有無、申告がないことに対する考え方、持ち去った者の氏名確認、道教委の直接指導の必要性、今後の対処方針等について

**中川 隆之委員（自民）**から、

高校入試に関し、学科・配点・出題の方針、30点で合格した生徒の数、0点の科目のあった生徒数、高校での指導方法、学年に応じた指導方法、能力別クラス分けの考え方等について

**小野寺 勇委員（自民）**から、

教育問題に関し、年2回しか評価を出さない学校の実態、3回への指導の考え方、特別昇給者の決定手順、勤務成績評価権者、退職者の昇給が3分俸の理由、在職専従者の復職時の調整根拠、是正の考え方及び時期等について

**大橋 晃委員（共産）**から、

(1) 博物館法に関する、登別熊牧場問題についての感想、常設法人設置の博物館相当施設数、指定時の審査内容、指定取り消しの考え方の有無、設置者からの自主的取り消し申請の有無、具体的な指導方策

(2) 高等教育に関し、授業料値上げに対する認識、学校運営費減額の理由、図書購入費の推移、学校図書の役割、予算計上にあたっての考え方、父母負担軽減措置の必要性、人

件費を除く学校運営費の推移、父母負担軽減措置の取組、納付金実態調査実施の考え方

(3) 障害児教育に関し、養護学校高等部受験者の不合格の状況認識、肢体不自由児養護学校全体の進学率、希望者全員入学の考え方の有無、真駒内養護学校の新年度の予定間口、旭川・網走・白糠に早期設置の必要性、過年度卒業者への配慮、精神薄弱児養護学校の合格率、高等部別の志願状況公表の考え方の有無、地域経済ごとの設置の考え方、新篠津村精神薄弱児養護学校高等部の設計間口、通学への配慮、訪問実施の考え方、通学スクールバス運行状況、60分以上の運行コース数

(4) 文学館に関し、北海道文学についての認識、文学館の意義、建設期成会からの要望内容、面積規模の他県との比較、将来増築可能な設計の考え方、展示室の規模、資料収集方法、より良い文学館とするための取組

(5) 養護教諭に関し、人数、児童生徒の保健室利用状況、養護教諭の役割、養護教諭複数配置の取組、国の研究協力校数と道の対応、養護教諭複数配置の今後の取組等について

質疑、意見及び要望があり、教育長、企画管理部長、生涯学習部長、学校管理課長、学校管理課参事、社会教育課長、学校教育課長及びスポーツ保健体育課長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

(6) 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

## 第3分科会

○3月18日（水）開議 午後零時40分  
散会 午後零時50分  
第5委員会室  
第3分科委員長  
高橋 一史（自民）

### 正副委員長の互選

- (1) 分科委員長に高橋一史委員（自民）、分科副委員長に岩井正明委員（社会）を選出。
- (2) 付託案件の審査日程、質疑の方法について

決定。

- (3) 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、永井利幸委員（自民）、長沢 敬委員（社会）、吉田 恵悦委員（公明）、水野重男委員（民政）を選出。
- (4) 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- (5) 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 3月19日（木） 開議 午後1時5分  
散会 午後4時32分  
第5委員会室  
第3分科委員長  
高橋 一史（自民）

- ① 林務部所管に対する質疑に入り、  
**久田 恒弘委員（自民）** から、
  - (1) みどりの環境づくりに関し、みどりの現状についての認識、みどりづくりへの取り組み、みどりの環境づくり運動推進事業取り組みの趣旨と事業内容、期待される効果、「1人1本植樹」のスローガンのもとでの実効方法、推進委員会の構成、みどりのネットワーク推進事業の目的・内容、期待される効果、ネットワーク形成に当たっての用地への対処、道路事業完了地区や農地・河川における対象箇所、事業実施の主体、道が管理する施設の緑化事業推進への考え方
  - (2) 美しい村づくり対策事業に関し、事業の趣旨、事業の仕組み、事業内容
  - (3) 漁業関係者との連携による森林整備事業に関し、魚をはぐくむ森づくり対策事業の目的と内容、期待する効果、三つのモデル地域選定の考え方、新年度から取り組む箇所数
  - (4) 「一人一本植樹運動」に関し、苗木の支援方法、植樹の場所、育樹の労力
  - (5) 林業従事者の不足問題に関し、林業労働実態調査の結果、林業労働者減少の理由、林業労働者の確保対策等について

**水野 重男委員（民政）** から、

カラマツ材の活用策に関し、本道の林業・木材産業の取り巻く現状、カラマツ人工林の育成年別面積比率、カラマツの公有林と民有林の割合、道有林のカラマツ植栽面積、カラマツ材の活用状況、道立林業試験場における建築用材の試験研究、試験場の機能等、研究結果を踏まえた行政施策の展開状況、製材としての利用時期、「積極的な補助事業」の内容、カラマツ材を使用したログハウスなど需要への見解、ログハウスに関する技術基準改正の内容、道産材ログハウスの振興策、今後のカラマツ材の有効活用への取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長、林務部参事、林業振興課長、森林計画課長及び林産振興課長から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

**佐藤 時雄委員（自民）** から、

サクラマス資源増大対策とウイルス病IHNに關し、過去5年間のサクラマス放流予定期数と放流実績、漁獲高の推移、平成3年の遡上系と池産系の放流形態別の放流実績、サクラマス増養殖場の名称・箇所数・規模などの現状、サクラマス稚魚のウイルス病IHN伝染による被害実態、放流形態別の処分状況、平成4年の現状、ウイルス病IHNの病気の性質、稚魚の症状・伝染性、他の魚病との違い、増毛支場におけるIHNウイルスの発生と対応状況、病気の発生原因と予防方法、真狩支場や熊石支場の感染のおそれ、民間養殖施設における発生状況、秋サケに対する感染の可能性と検査の状況、卵や稚魚の移動状況の把握に対する国や道の管理体制及び一般の内水面漁業者の状況、ウイルス感染抑制技術開発試験の研究内容と予算額、今年のサクラマスの放流計画の見通し、日本海振興ビジョンの中でのサクラマス資源増大対策策定の状況、昨年3定の質問時点での稚魚処分承知の有無、IHN発生の情報承知と答弁で触れなかったことへの見解、サクラマス資源増大に対する基本的な考え方等について

**中川 隆之委員（自民）** から、

トドの被害に関し、本道に来遊するトドの

米遊頭数、回遊状況、地区別米遊状況、トド被害の実態と海域ごとの状況、これまでのトド被害対策、駆除事業の実績、トド被害対策の今後の対応等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長、栽培漁業課長、水産部技監、漁政課参事及び漁場整備課長から答弁。

○ 3月23日（月） 開議 午前10時12分  
閉会 午後4時13分  
第5委員会室  
第3分科委員長  
高橋 一史（自民）

① 水産部所管に対する質疑の続行、

吉田 恵悦委員（公明）から、

漁業系廃棄物問題に關し、水産庁の処理計画策定のための指針の内容等、廃棄物の各地域における特徴と問題、FRP廃船の処理方法と道内の処理の実態、FRP漁船の処理技術開発や対策への取り組み、ホタテ増養殖に伴うウロ等の残滓量、ホタテの残滓の廃棄場所や処理方法、建設中のウロ等残滓処理施設の内容と処理能力、施設の運営主体や収支計画、噴火湾地域に対する今後の対処、羅臼町の廃網処理施設の状況と施設の内容、処理計画策定事業の取り組み体制と処理方法検討の状況、実態調査から見た将来の予測、今後の検討内容やスケジュール、施設整備や運営に対する支援制度、処理計画具体化に向けての今後の対応、ホタテのウロなど残滓の有効利用方法、昆布の施肥試験の内容と成果、イカの内臓の漁場投入試験の内容と成果、イカの内臓などの海洋投棄に対する認識と取り組み、檜山管内の試験投与計画に対する指導助言等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長、栽培漁業課長、水産経営課長、漁場整備課長及び漁政課参事から答弁があつて、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 農政部所管に対する質疑に入り、

酒井 芳秀委員（自民）から、

外国産馬の出走制限緩和計画に關し、日高管内の軽種馬生産額と農業粗生産額全体に占める割合、日高管内における軽種馬生産の重要性、日本中央競馬会から示された外国産馬

の出走制限緩和計画の内容、出走制限緩和計画が地元産業界に与える影響、地元からの要請に対する道の対応状況、農政部次長が中央競馬会に要請を行った際の感触、知事の関係機関への中央要請方等について

久田 恒弘委員（自民）から、

(1) 道産米に關し、道産米の全国的な評価、北海道米の価格水準、寿司屋や観光地での道産米の販路拡大に向けての見解、おいしく安全な米づくりへの取り組み

(2) 農畜産物の輸出入に關し、飼料用大麦と小麦の港別輸入実績、3号の肉などの指定検疫物の港別輸入実績、飼料用大麦と小麦について他の港を指定する必要の有無、4年度完成の厚真町の動物検疫施設の規模、施設設置に伴う航空機利用と港利用の各種等について

水野 重男委員（民政）から、

(1) 転作緩和問題に關し、全国の復田の見通し、全国の都市開発等による水田の壊滅面積、今回の緩和措置にかかわって来年以降の耕作面積見通し等に対する見解、本道の水田の復元可能な面積、ポスト後期対策に向けての傾斜配分是正のための実態調査の必要性、転作緩和による畑作の作付指標の見直し、地区間調整による指標面積への対応方法、本道農業推進の基本方策

(2) 平成4年度保証乳価に關し、農水省の乳価算定の経済調査における本道の対象農家数、酪農経営の実態に係る資料の国への反映状況、畜産振興審議会における意見陳述の内容

(3) エゾシカ被害問題に關し、3年度の被害農家の戸数と被害額、鳥獣による農作物被害の農業共済対象の有無、被害の増加と予算の減額に関連して被害対策に対する認識

(4) 農業改良普及事業のあり方に關し、普及員の実在数、普及員の中の専門技術員資格者の数、普及員の区域分担方式と専門分野の担当方式の内容、普及員の資格・職種などと担当項目等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長、酪農畜産課長、畑作園芸課長、農政課長及び農業改良課長から答弁があつて、農政部所管に対する質疑を終結。

③ 地方労働委員会所管に対する質疑に入り、  
三津 丈夫（社会）から、

代々木ゼミナール札幌校の労使間の問題に  
関し、不当労働行為の救済申立て及び被申立  
人の答弁書の内容、地方労働委員会としての  
調査の内容及び代々木ゼミナールの出頭者、  
審査の内容及び今後の審査計画と早期解決を  
図るための見解等について

質疑、意見及び要望があり、地方労働委員会事務局長  
から答弁があって、地方労働委員会所管に対する質疑  
を終結。

④ 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、  
伊藤 条一委員（自民）から、

北海道平和婦人会等移転対策費に関し、予  
算計上の必要性と経緯及び3,245千円の具体的な積算根拠、道平和婦人会と道母親大会連  
絡会の設立目的、構成員及び活動内容、道が  
借り受けた、道庁西ビル2階の財務規則上の  
財産区分、管理内容、貸付料及び取扱いの根  
拠規定並びに物件の転貸の是非に関する見解  
と根拠、昭和48年の道と平和婦人会、母親大  
会連絡会及び全北海道労働組合協議会との土  
地・建物賃貸借契約の貸付物件の表示、貸付  
期間、貸付料、契約の解除及び貸付物件の返  
還等の約定の内容、道庁西地区整備構想が策  
定された段階での契約の解除及び貸付物件の  
返還並びに当事者に対する移転要求に関する  
申し入れの内容、訴訟による解決方法を選択  
しなかった理由、貸付面積を21.9平方米か  
ら、43.6平方米に増やした理由と施設の管理  
責任、契約の解除及び貸付物件の返還につ  
いての取決めの内容、貸付料の額とその積算方  
法、貸付料の差額（毎年300万円）を道が負  
担する理由、負担期限と費用の支出方法、今  
後の処理の具体的な改善策、契約の次期更新時  
(平成5年3月31日)までに解決する意思の有無等について

質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長及び総  
務課長から答弁があって、商工労働観光部所管に対する  
質疑を終結。

⑤ 付託案件に対する分科委員長報告について  
は、分科委員長に一任することを決定。

○ 3月25日（水） 開議 午前10時55分

閉会 午後1時40分

第1委員会室

委員長 高橋 康之（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 知事に対する総括質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

道道士幌然別湖線に廻し、昭和48年の自然  
環境保全審議会林部会長談話についての認識、ルート変更の場合の変更承認の必要性、  
林部会長談話適用の是非、山火事対策として  
の必要性、地域振興目的で想定している産業、  
「自然と環境にやさしい地域づくり」の公約  
との整合性、然別自然を考える会からの公開  
質問に対する回答の有無、道の自然保護協会  
の意見聴取の考えの有無、凍結後工事が再開  
された例、計画の内容と実施する上での自然  
環境を守る対策等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があつて総  
括質疑を終結。

③ 付託案件に対する意見の調整は、各会派代表者会議において行うことを決定。

④ 各会派代表者会議における意見調整の結果、  
議案第1号、第16号ないし第18号及び第77号  
について意見の一致を見るに至らなかった旨  
報告の後、これを問題とし、大橋 晃委員（共  
産）から反対討論の後、採決に入り、起立採  
決の結果、起立多数をもって原案のとおり可  
決することを決定。

議案第2号ないし第15号、第24号及び第83  
号ないし第85号を一括問題とし、原案のとお  
り可決することを決定。

⑤ 付託案件に対する委員長報告について、委  
員長に一任することを決定。

⑥ 神戸典臣委員（自民）から、別紙の附帯意  
見を委員長報告に挿入されたい旨の動議があ  
り、これをはかつて動議成立。大橋 晃委員  
（共産）から反対討論の後、採決に入り、起  
立採決の結果、起立多数をもって動議のとお  
り可決することを決定。

⑦ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり  
あいさつがあつて閉会。



対策の強化について (福岡県)  
第8号議案 窒素酸化物対策の強化について  
(東京都)

## 全国都道府県議会議長会

○ 1月23日（木） 都道府県会館において臨時総会を開催。下記事項について協議、いずれも原案のとおり決定、又は了承。

（協 議）

1. 平成4年度本会予算（案）について  
(総額 3億8,740万2,000円、平成3年度  
予算に比べ4,987万9,000円・14.8%の増)
2. 平成4年地方財政の概要等について  
(全議事務総長から説明)

## 10都道府県議会議長会（第166回）

○ 1月16日（木） 東京都において開催し、下記の事項について協議、決定した。

1. 前回議決事項の処理結果報告（静岡県）
2. 議案審議
3. 次回開催地を愛知県に決定。
4. その他  
(全議事務総長から、「平成4年度地方財政事情」等について説明。)

（議 案）

第1号議案 「地球サミット」に向けた我が国の積極的な取組について

（神奈川県）

第2号議案 公共用地取得に係る租税特別措置法の優遇措置の拡大について

（静岡県）

第3号議案 子供を生み育てる環境づくりについて

（愛知県）

第4号議案 青少年の健全育成対策について

（京都府）

第5号議案 ホームヘルパーの待遇の向上対策の推進について

（兵庫県）

第6号議案 地方財源の安定確保について

（広島県）

第7号議案 石炭鉱業の安定及び産炭地域振興

## 1月のメモ

- 8日 ○**プッシュ米大統領倒れる** 日米首脳会談のため来日したプッシュ米大統領は、首相官邸で開かれた歓迎夕食会の席上、突然倒れた。主治医の診断ではインフルエンザによる胃腸炎で、9日の主要日程は一部短縮して予定通り行われた。
- 9日 ○**日米両首脳が東京宣言を発表** 宮沢首相とプッシュ米大統領は、一連の首脳会談の結果をまとめた「東京宣言」と付属文書の「行動計画（アクションプラン）」を共同記者会見で発表、冷戦後に向けた日米両国の「新時代を形成する特別の責任」を確認した。
- 10日 ○**開発局長が放水路アセスの新年度着手を表明** 戸部開発局長は、記者会見で千歳川放水路計画について「道の美々川流域調査の結果も本年度中に出るので、新年度早々にも環境影響評価（アセスメント）に着手したい」との考えを明らかにした。
- 13日 ○**共和汚職で阿部元道開発庁長官を逮捕** 東京地検特捜部は元道開発庁長官の阿部文男容疑者(69)を鉄骨加工メーカー「共和」から本道での事業に絡み、現金8,000万円を受け取った受託収賄の疑いで逮捕した。汚職事件での国會議員逮捕はロッキー事件以来16年ぶり。
- 16日 ○**従軍慰安婦問題で謝罪** 宮沢首相は就任後初の外遊として韓国を訪問、盧泰愚大統領と2度の首脳会談を行った。この中で首相は日本軍による朝鮮人従軍慰安婦問題について公式に謝罪を表明した。
- 22日 ○**脳死臨調が答申** 臨時脳死および臓器移植調査会（永井道雄会長）は、宮沢首相に答申した。臓器提供には本人の意思尊重などの条件を付けて、日本での脳死移植に道を開いた。答申はまた、脳死を人の死と認めない少数意見も併記、今後の課題として臓器移植法制定の整備などを挙げた。

- 26日 ○**道職員夫婦、殺され埋められる** 昨年11月から行方不明になっていた札幌市北区の道職員夫婦の遺体が同市東区内の原野で車とともに埋められているのが見つかった。2人は刺殺されており、死体遺棄の疑いでこの夫婦の長女(19)と男友達(24)を逮捕、殺人容疑でも追及している。
- 30日 ○**40人学級の導入** 道教委は、平成4年度の道内公立高入試の当初志願状況を発表した。志願者は全日制、定時制合わせて6万9,534人。昨年より3,150人減ったものの、40人学級の導入などに伴い募集定員も減ったため、全体の競争率は1.11倍と昨年の1.09倍に比べてやや高くなっただ。

## 2月のメモ

- 3日 ○生体肝移植坊や死亡 北大医学部付属病院第一外科で、母親から道内初の移植手術を受けた札幌市の男児（2歳7カ月）は、気管内出血による心不全と呼吸不全のため死亡した。昨年12月17日の手術から49日目。
- 4日 ○ウラウス・リゾートで2人逮捕 道警と砂川署などはスキー場造成工事に伴う高圧送電線の鉄塔移設工事発注に絡み、2千数百万円を横領したとして業務上横領の疑いで、「ウラウス・リゾート開発公社」に出向している空知管内浦臼町職員二人を逮捕した。
- 5日 ○暴対法指定にまず7団体 3月1日から施行される暴力団対策法に基づく「指定暴力団」に山口組、稻川会、住吉会の広域3団体と会津小鉄、合田一家、工藤連合草野一家、共政会の計7団体をまず指定する方針を決めた。
- 10日 ○対日覚書破棄を表明 モスクワで開かれた日本とロシアの初の平和条約部会で、クナーゼ外務次官は歓舞、色丹二島返還を明記した日ソ共同宣言（1956年）を否定した60年のグロムイコ対日覚書について「克服していくなければならない」と述べ、破棄の意向を示した。
- 12日 ○橋本聖子初のメダル アルベルビル冬季五輪のスピードスケート女子1500mで、橋本聖子が2分6秒88で銅メダルを獲得した。
- 13日 ○北方四島道交流推進委が発足 今春にも実現する北方領土とのビザ（査証）なし相互渡航の実施団体になる北方四島交流北海道推進委の設立総会が開かれ、会長に村田雄平・千島歓舞諸島居住者連盟名誉顧問を選んだ。
- 17日 ○三沢道男・前道議恐喝容疑で逮捕 「ほくさん」（本社・札幌）が工事を請け負ったバッテリー再利用施設工事に絡み、工事を発注した渡島管内八雲町の廃品回収業者ら2人が同社から約4億円を脅し取っていたとされる事件で、道警捜査4課は恐喝の疑いで八雲町立岩2、酪農業、三沢道男容疑者（=前道議）を逮捕した。
- 20日 ○コメ関税率明記せず 農水省は新多角的貿易交渉（ウルグアイ・ラウンド）で3月1日までに提出が求められている農業保護削減リストに、コメの関税率を記入しない方針を決めた。
- 21日 ○阿寒町長が住民台帳から義妹の名前を本人に無断で抹消 月館俊松阿寒町長の義理の妹で、札幌在住の女性の阿寒町にある住民基本台帳から本人が知らないうちに、名前が抹消されていることがわかり、釧路署は公正証書等原本不実記載の疑いで捜査している。
- 22日 ○4島ビザなし訪問団の調印 道の荒井知事室長と、ロシア・サハリン州のミュータ副知事は、ユジノサハリンスクの州庁舎で、4島からのビザなし訪問団を4月下旬に受け入れることなどを盛り込んだ確認書に調印した。
- 24日 ○韓国漁船に北方領土水域の操業認可 ロシアは韓国に対してロシア主張200海里水域内の操業を認めたが、この中に北方領土周辺水域が含まれていることが明らかになった。外務省はロシア、韓国両国に抗議した。
- 25日 ○第1回定例道議会開会
- 27日 ○中国、尖閣諸島の領有主張 中国政府が公布した領海法で、日中間で領有論争が棚上げになっている尖閣諸島を、中国固有の領土と明記していることが判明。日本政府は「わが国固有の領土であることは疑いがない」と抗議した。
- 元道議会副議長佐野氏死去 元社会党道本部委員長の佐野法幸氏が、心不全のため入院先の病院で死去した。73歳。紋別市出身で自宅は札幌。道議当選5回。道議会副議長を務めたあと、社会党道本部書記長、同委員長を歴任し、道内革新勢力のリーダーとして活躍した。

### 3月のメモ

- 6日 ○道議会が阿部文男衆議院議員の辞職勧告及び道議会の権威保持に関する決議 道議会はこの決議を全会一致で可決した。
- 9日 ○ヒグマ95頭殺す 加森観光グループの登別温泉ケーブル経営の「のぼりべつクマ牧場」で昨冬、飼育していたうちの95頭を処分していたことが明らかになった。また250頭のクマの死体を支笏洞爺国立公園内の同牧場敷地に埋めていたことも分かり、環境庁などが調査に入ったが、法には触れていないとの見解を示した。
- 11日 ○道議会で教育長が主任制実施困難と答弁 寺山教育長が「北海道方式の学校主任制実施は極めて困難」と答え、道議会は8日ぶりに審議を軌道に乗せた。しかし、この答弁には北教組が強く反発、問題解決はさらに難しくなった。
- 13日 ○サホロ・リゾートのアセスで修正意見 道環境影響評価審議会は十勝管内新得町の狩勝高原サホロ・リゾート増設について、異例の修正意見の答申を決めた。
- ワシントン条約会議閉幕 絶滅の恐れのある野生生物の国際取引を規制するワシントン条約の締約国会議が閉幕。焦点だった象牙（ぞうげ）取引再開とクロマグロ規制の2提案は撤回された。
- 14日 ○アカイカのふ化に成功 北大水産学部の桜井泰憲助手(41)がアカイカの人工授精とふ化に世界で初めて成功した。今年限りで公海イカ流し網漁が全面禁止されるだけに、今後の産卵、移動海域の特定に大きな期待が寄せられている。
- 16日 ○ロシアが独自軍創設へ ロシアのエリツィン大統領は、独立国家共同体(CIS)による通常戦力の統合軍づくりを断念し、ロシアも独自軍を創設する方針を打ち出した。
- 17日 ○道央道で多重玉突き衝突事故 午前8時45分ごろ、千歳市上長都の道央道上り線でバス、タンクローリー、乗用車など160台が次々に追突。2人が死亡、73人が重軽傷を負った。原因は調査中だが、冬の高速道の除雪、スピード規制、救急体制など多くの課題を投げかけた。
- 18日 ○「尊厳死」法制化を提言 日本医師会の生命倫理懇談会は、回復の失われた患者の意志を尊重、延命治療を打ち切り「尊厳死」を認めるべきとする報告書を公表。米国の自然死法のような法律を提言する一方、注射などによる積極的な安楽死は否定している。
- 留萌管内幌延町の「首都圏のごみ処理受け入れ」が表面化 首都圏の一般廃棄物焼却灰を移入、コンクリート製品化し利用する、同町の「リサイクル処理施設建設設計画」が明らかに。同町は高レベル放射性廃棄物貯蔵・研究施設も誘致しており、酪農が主産業の近隣町村に新たな物議をかもしている。
- 20日 ○日ソ共同宣言を確認 ロシアのコズイレフ外相は渡辺外相との初の日ロ外相定期協議で、爾舞、色丹両島の返還を明記した1956年日ソ共同宣言も含めてロシア政府が継承することを表明。しかし、返還については踏み込んだ言及を避けた。
- 25日 ○第1回定例道議会閉会
- 27日 ○地価17年ぶりに下落 國土庁は今年1月1日現在の全国各地の地価を公示した。昨年1年間の全国の地価変動率は17年ぶりにマイナスに転じ、地価が沈静化した。
- 30日 ○そばアレルギーで学校側に過失責任の判決 昭和63年12月、そばアレルギーの小6男児=当時(1)=が給食のそばを食べて気分が悪くなり、早退して帰宅する途中に死亡した事件の判決公判で、札幌地裁は学校が適切な措置を取らなかつたとする両親の訴えをほぼ認め、札幌市に約1,560万円を支払うことを命じた。

北海道議会時報 第44巻第1号  
平成4年7月2日発行

編集 北海道議会事務局調査課  
発行 北海道議会事務局